

参考資料-5

チェックシート

参考資料-5 チェックシート 目次

ページ	内容
参考資料-5-1	工程別チェックシート（急傾斜）
参考資料-5-4	基礎調査調書例（急傾斜）
参考資料-5-33	工程別チェックシート（土石流）
参考資料-5-36	基礎調査調書例（土石流）
参考資料-5-66	工程別チェックシート（地すべり）
参考資料-5-68	基礎調査調書例（地すべり）
参考資料-5-86	位置図作成のチェックリスト
参考資料-5-88	土砂災害警戒区域，土砂災害特別警戒区域 位置図

照査結果凡例
 ○: 修正不要 △: 要確認 ×: 修正必要 - : 照査対象ではない

1. 調査対象箇所の確認				
確認内容: 対象範囲内の調査対象箇所が抽出・整理されているかを確認する。				
確認成果: 発注者確認協議時の箇所抽出図[急傾斜](1/2500~1/25000)、調査対象箇所の一覧表				
	確認内容	チェック項目		備考
		従来手法	システム利用	
共通 (口頭確認)	基礎調査会社において、調書の内容について事前に照査を行っている。			
	抽出条件の設定は正しいか。 (過疎地域・都市計画区域は考慮されているか。)			
	人家等のない箇所がある場合、開発可能地の条件を満たしているか。			
	開発計画の策定区域を確認しているか。			
	法律により土地利用が制限されている区域が考慮されているか。			
	既往箇所と新規抽出箇所が整理されているか。			
急傾斜	調査対象箇所と対象外箇所が整理されているか。			
	隣接小学校区の調査状況を確認しているか。 また、調査されている場合、整合を取っているか。			
	管理者が明らかに対象外とした斜面はどこか整理されている。(道路路面、鉄道路面など)。			
	「宅地造成等規制法」「都市計画法」に基づいて直近10年以内に造成された斜面で、対象外とした箇所が整理されているか。			
	対象外の崩壊・想定外の移動機構にあてはまり、対象外とした斜面はどこか整理されているか。			
	1/2,500地形図もしくは傾斜区分図を基に地形条件を把握して抽出作業を行っているか。			
机上・現地により社会条件を把握し、空き家を含む保全対象・開発可能地の確認が行われているか。				

2. 横断測線の設定				
確認内容: 現地調査、測量作業を行う前に、机上で設定された横断測線が妥当かを確認する。				
確認成果: 現地調査準備用平面図[急傾斜](1/2500~1/25000)				
	確認内容	チェック項目		備考
		従来手法	システム利用	
急傾斜	起終点の設定根拠は妥当か。			
	横断測線が地形変化点に設定されているか。 また、最急勾配方向となっているか。			
	横断測線間隔が100m以上離れる場合に概ね50mの地点に追加横断測線を設定しているか。			
	下端から50m以内に存在する河川、掘削道路、人工構造物の把握を行っているか。			

3. 現地調査・測量成果の確認				
確認内容: 必要な現地調査、測量が行われているかを確認する。				
確認成果: 現地調査野帳、写真				
	確認内容	チェック項目		備考
		従来手法	システム利用	
急傾斜	土質状況(砂及び砂礫、砂質土、粘性土の区分)を確認したか。			
	起終点の位置と根拠を現地で確認したか。			
	効果を見込む対策工端部の横断測線が追加されているか。			
	効果を見込む対策工の最大斜面高位置に横断測線が追加されているか。			
	効果を見込む対策工端部の残斜面高5m位置に横断測線が追加されているか。			
	斜面全体に対して横断測線が密になりすぎないか。			
	簡易横断測量は下端下方15m(水平距離)まで、下端上方7~10m(比高差)までとなっているか。【注: 対策工がある場合や砂防基盤図と現地地形が異なる場合のみ】	—		
	横断測量は下端下方15m(水平距離)まで、下端上方25m(比高差)までとなっているか。		—	
	下端点のオフセット(地物2箇所)または座標計測が行われているか。			
	上端側に人家がある場合、上端点の簡易計測(座標計測)が行われているか。			
	測線間の下端線変化点のオフセットまたは簡易計測(座標計測)が行われているか。【注: 砂防基盤図に変化点が表現されていない場合のみ】			
	施設効果のある対策施設に関して、位置、諸元が把握されているか。			
	施設効果のない施設または小規模な対策施設に関して位置、諸元が把握されているか。また、写真が貼付されているか。			
	人工構造物の写真が撮影されているか。 【注: 必要に応じて形状を計測する】			
	河川・水路または掘削道路が下端から50m以内にある場合、最深部からの比高差について計測または写真撮影がなされているか。			
	各測線の下端位置、全景写真、下端状況、対策施設、地物について写真撮影されているか。			
基盤図の修正対象はないか。 【注: 地形改変、土地利用の変化などの現地と砂防基盤図との相違、地形図の欠落】				

4. 設定条件の確認				
確認内容: 現地調査ならびに測量成果を基に設定した危害のおそれのある土地等の地形条件を確認する。				
確認成果: 様式-1(急)、様式-3(急)、様式-4(急)、様式-5(急)⑦【従来手法】				
	確認内容	チェック項目		備考
		従来手法	システム利用	
急傾斜	起終点の位置・設定根拠は妥当で根拠資料が記載されているか。			
	下端地点は妥当か。 【注: 下端点と下端点を結んだラインが保安対象に掛かっていないか 等】			
	一連の斜面となっているか。 【注: 斜面間の距離が50m以下の斜面は開発可能地が存在しない区域を含めて一連の斜面とする】			
	横断測線の方向は妥当か。 【注: 地形変化の影響が無い限り、下端点、上端点を支点として測線方向を曲げない】			
	下端位置は妥当か。			
	上端位置は妥当か。			
	多段斜面の場合、その検討がなされているか。			
	河川、掘削道路、盛土等の人工構造物が反映されているか。下端から15m以内にこれらが存在する場合、簡易計測もしくは座標計測がされているか。			
	平面図上で上下端地点の連続性が保たれているか。 【注: (特別)警戒区域が極端に歪な形状になっていないか 等】			

5. 対策施設等状況調査				
確認内容: 対策施設に対する効果の有無および効果評価について確認する。				
確認成果: 様式-3(急)、様式-4(急)、様式-5(急)①、様式-5(急)④				
	確認内容	チェック項目		備考
		従来手法	システム利用	
急傾斜	小規模な対策施設の判断は妥当か。			
	原因地对策のうち、効果を見込む施設と見込まない施設はマニュアル記載の表に従っているか。			
	多段斜面内の原因地对策施設の効果評価は正しいか。			
	県の標準構造物以外の待受け式擁壁がある場合、安定性評価を行っているか。			

6. 危害のおそれのある土地等の設定				
確認内容: 危害のおそれのある土地、著しい危害のおそれのある土地の設定区域について確認する。				
確認成果: 様式-1(急)、様式-4(急)、様式-5(急)①				
	確認内容	チェック項目		備考
		従来手法	システム利用	
急傾斜	危害のおそれのある土地			
	急傾斜地下方の区域は、下端から斜面高の2倍または50mの範囲となっているか。			
	補完線の設定により測線間の下端線変化点を反映させた区域設定となっているか。			
	急傾斜地上方の区域は、上端から水平距離10m(斜面高が10m未満の場合は斜面高分)となっているか。			
	区域が尾根を越える場合、下端から30°ラインとの比較が行われているか。			
	明らかに土石等が到達しない土地(対岸斜面・逆勾配法面)の設定は、最低標高地点から比高5mまでとなっているか。			
	明らかに土石等が到達しない土地(河川・掘削道路)の設定は、断面積15.8m ² を有する河川または掘削道路の肩(斜面側)となっているか。			
	全体的に見て区域が歪な形状になっていないか。			
	著しい危害のおそれのある土地			
	横断面から得られた急傾斜地の高さ・傾斜度等のデータを用いて、著しい危害のおそれのある土地の設定をしているか。			
	計算に使用する土質定数等はマニュアル記載のとおりか。			
	原因地对策施設・待受け式擁壁の効果を反映しているか。			
	明らかに土石等が到達しない土地(河川・対岸斜面・逆勾配法面)の設定は正しいか。			
	明らかに土石等が到達しない土地(河川・掘削道路)の設定は、マニュアル記載のフローに従っているか。			
	著しい危害のおそれのある土地内で横断測線が交差していないか。			
	全体的に見て区域が歪な形状になっていないか。			

7. 基礎調査調書の最終照査

確認内容: 調書で危害のおそれのある土地、著しい危害のおそれのある土地の設定区域について確認する。

確認成果: 全様式

	確認内容	チェック項目		備考
		従来手法	システム利用	
表紙	結果一覧表、土砂災害警戒区域等DBと箇所番号、箇所名、所在地は一致しているか。			
様式1	区域図: YRの形状が歪でないか。			
	区域図: 国土地理院の地図掲載が記載されているか。			
	所定の凡例となっているか			
様式2	力の区分表: 不要な区間の力の区分が記載されていないか。			
	1/4: 「調査対象箇所の抽出」、「既往調査の対応」は抽出時の条件が示されているか。			
	1/4: 「土質定数」は広島県における一般的な数値を使用しているか。			
	1/4: 「対策施設」の記載は様式5④と整合しているか。			
	2/4: 「区域の判定」と「著しい危害のおそれのある土地の設定結果」に記載漏れは無いのか。			
	3/4: 共同住宅の世帯数のカウントは妥当か。 (1部屋1世帯, R区域を除く世帯数, 一部の場合該当箇所のみ)			
様式3	3/4: 共同住宅のR区域の世帯数のカウントは妥当か。 (非木造: 1階のみ, 木造: 全世帯数, 一部の場合該当箇所のみ)			
	3/4: 「世帯数及び人家戸数」は様式5⑥と整合しているか。			
	4/4: 記載漏れは無いのか。			
	傾斜区分図に測線、測線番号、下端、上端、YR区域、方位、バースケールが記載されているか。			
様式4	起終点の測線番号と根拠が記載されているか。			
	横断面の作成漏れは無いのか。 注: 各測線、対策工の有無や形状の変化点となる二重測線に注意する。			
様式5	測線位置の写真が記載されており、横断形状と違いは無いのか。			
	対策工のある断面や基盤図の地形が現地と異なる断面の現地計測結果が記載されているか。 現地計測結果には対策工高さ、残斜面高、対策工前面勾配、対策工上部勾配が記載されているか。【注: DM: 黒、現地: 赤、△スケール: 緑、下端: 赤△、上端: 青□】			
様式5	作成資料/作成不要資料に間違いはないか。			
	①: 対策工ありの断面について作成されているか。			
	②: 現地で確認された微地形、人工構造物が記載されているか。			
	③: 人工構造物や河川などの撮影漏れは無いのか。			
	③: 写真と撮影位置が整合しているか。			
	④: 施設効果評価内容の記載は妥当か。			
	④: 効果のある対策施設の標準断面図が作成されているか。			
	⑤: 災害実績のある場合、調査内容が記載されているか。			
	⑥: 所定様式で記載できない場合、調査結果を様式5⑥Iに記載しているか。		—	
	⑥: 戸建住宅等が記載されているか。 注: 木造、非木造の区分はR区域内のみでよい。		—	
様式6	⑦: 起終点決定根拠が記載されているか。		—	
	⑦: オフセットの場合、下端位置が2箇所以上の地物と関連付けられているか。		—	
	⑦: 座標計測の場合、地物と下端位置の座標値が示されているか。		—	
	⑦: 地物の位置と写真が記載されているか。		—	
	⑧: 所定様式で記載できない場合、調査結果を様式5⑧Iに記載しているか。 (設定根拠資料となる台帳等の資料)		—	
	著しい危害のおそれのある区域に漏れはないか。		—	
	点の記に漏れはないか。		—	
参考1	上下端の座標値が記載されているか。		—	
参考2	Y区域の座標値が記載されているか。		—	
参考3	R区域全体の座標値が記載されているか。		—	

青字…基礎調査業者による社内照査の着目点

紫字…総括・補助業者による照査の着目点

赤字…変更になった様式

結果一覧表，土砂災害警戒区域DBと箇所番号，箇所名，所在地は一致しているか。

自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	Ⅱ-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅
施工番号	27831-000-0043
基礎調査担当会社名	〇〇コンサルタント

様式目録

様式-1(急)平面図

様式-2(急)基礎調査調書(1/4)

様式-2(急)基礎調査調書(2/4)

様式-2(急)基礎調査調書(3/4)

様式-2(急)基礎調査調書(4/4)

様式-3(急)上・下端線(座標管理)・横断測線位置図

様式-4(急)横断面図

様式-5(急)著しい危害のおそれのある土地等の設定資料

様式-6(急)座標管理図表

様式-7(急)点の記

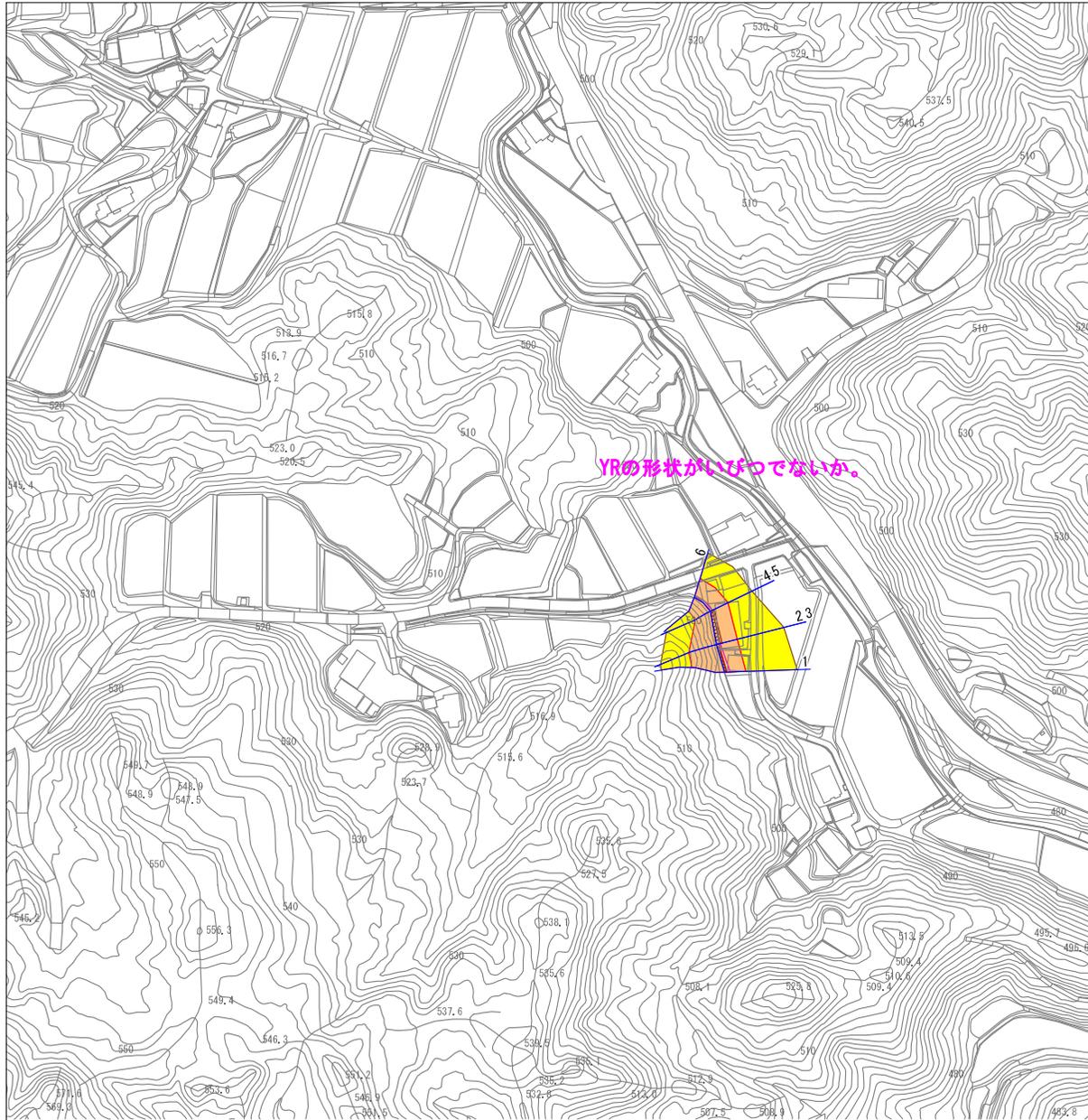
参考-1(急)上・下端位置読み取り座標表(システムによる)

参考-2(急)警戒区域読み取り座標表(システムによる)

参考-3(急)特別警戒区域読み取り座標表(システムによる)

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 区域図

縮尺：1/2,500
0 50 100 m



告示年月日	年 月 日
告示番号	広島県告示第

位置図 縮尺：1/25,000
0 0.5 1 km



国土院の地図掲載が明示されているか。

凡 例	
土砂災害警戒区域	
移動による力が100kN/m ² を上回る区域	
移動による力が100kN/m ² 以下の区域	
堆積高が3mを上回る区域	
堆積高が3m以下の区域	
斜面地内の特別警戒区域	

様式-1 (急)	平面図 (1/2)
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	II-1-3964-1
箇所名	八幡 (3964-1)
所在地	庄原市東城町菅

基礎調査調書 (1/4)

抽出時の条件が示されているか。

調査対象箇所 の抽出	地形条件	自然斜面				●		
		人工斜面						
	社会条件	人家等あり	急傾斜地崩壊危険箇所Ⅰ				●	
		人家等なし	急傾斜地崩壊危険箇所Ⅱ					
		準ずる箇所(都市計画区域内)						
		準ずる箇所(都市計画区域外)						
既往調査との対応		危険箇所番号	-					
		危険箇所名	-					
使用図面		写真撮影年月日	平成26年8月	縮尺	1/2,500			
		図化年月	平成27年11月	新規・修正の区分	新規			
		種類	砂防基盤図					
基礎調査履歴		回数	調査年月	理由				
		第1回	平成27年12月	土砂災害防止法基礎調査(初回調査)				
		第2回						
		第3回						
告示履歴		告示回数	告示番号	指定・解除年月	理由			
地形状況	崩壊発生の地形	下端延長	43.6m	最大高さ	18.9m	平均高さ	15.2m	
		最大勾配	43.3°	平均勾配	40.0°			
		被害のおそれのある土地等の地形 様式-5(急)②に示す。						
地質状況	地表の状況	表土の平均厚さ	50cm		表土の最大厚さ	100cm		
		砂質土、植生は広葉樹の中低木が分布する。						
	地盤の状況	代表的な地質	花崗岩					
		砂質土系の崖錐堆積物が覆い、基盤の花崗岩は風化が進行している。						
	その他							
	土質定数	土石等の比重(σ)	2.6	設定根拠	広島県の一般値で設定した。			
		土石等の容積濃度(C)	0.5	設定根拠	広島県の一般値で設定した。			
土石等の密度(ρ)		1.8 t/m ³	設定根拠	広島県の一般値で設定した。				
土石等の単位体積重量(γ)		17 kN/m ³	設定根拠	広島県の一般値で設定した。				
土石等の内部摩擦角(φ)		30°	設定根拠	広島県の一般値で設定した。				
土石等の流体抵抗係数(fb)		0.025	設定根拠	広島県の一般値で設定した。				
対策施設等 状況調査	対策施設	重力式コンクリート擁壁工						
	概況	様式-5(急)④に示す。						
想定される崩壊	(1)災害実績調査に基づく方法	①周辺の崩壊実績から推定した方法	土石等の量		算出根拠			
		②統計的に推定した方法	土石等の量	様式-5(急)に示す。	算出根拠	県マニュアル		
	(2)当該斜面の変状地形に着目した方法	土石等の量		算出根拠				
	採用理由	当該斜面に該当する詳細な災害実績がないため、統計的な手法により設定した。						
災害実績調査		様式-5(急)⑤に示す。						

システム出力値

標準値
でよいか

様式-5④
整合しているか。

様式-2(急)	基礎調査調書(1/4)
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	Ⅱ-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅

基礎調査調書 (3/4)

様式-5⑥と整合しているか。

土地利用状況	急傾斜地上部	道路		水路		池沼		宅地		農地	
		公園		山林	●	空地		その他			
	急傾斜地内	道路		水路		池沼		宅地		農地	
		公園		山林	●	空地		その他			
	急傾斜地下方	道路	●	水路		池沼		宅地	●	農地	●
		公園		山林		空地		その他			
世帯数及び人家戸数	危害のおそれのある土地					著しい危害のおそれのある土地					
	人家	1戸				非木造	人家		0戸		
							共同住宅		0棟 0世帯		
	共同住宅	0世帯				木造	人家		1戸		
共同住宅							0棟 0世帯				
危害のおそれのある土地					著しい危害のおそれのある土地						
道路・鉄道などの公共施設	種 類	施設名称 (延長, 基数)				施設名称 (延長, 基数)					
	JR										
	私鉄										
	高速道										
	国道										
	県道										
	市町村道										
	その他道路	19m									
	河川										
	橋梁										
	その他										
郵便局・社会福祉施設などの公共的建物	種 類	施設名称 (延長, 基数)			施設名称 (延長, 基数)			建築構造			

様式-2(急)	基礎調査調書 (3/4)
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	Ⅱ-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅

基礎調査調書(4/4)

記載漏れはないか。

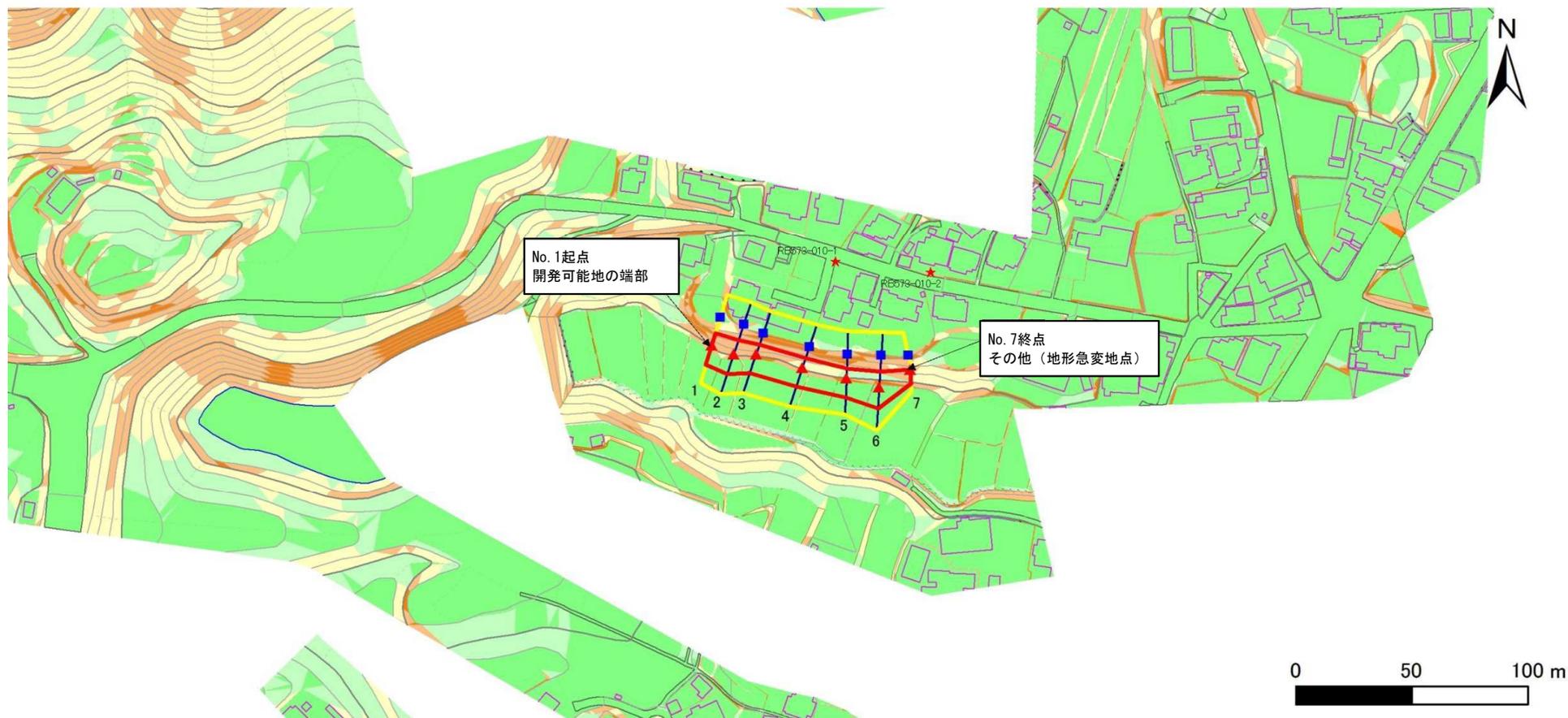
警戒避難体制に関する調査	土砂災害警戒区域・特別警戒区域の地域防災計画への記載				-	
	自主防災組織				有	
	伸縮計設置				無	
	その他地盤計測機器				無	
	最寄りに設置してある雨量計の位置		緯度	34°	56' 39'	
			経度	133°	07' 11'	
	最寄りに設置してある雨量計の管理者			中国地方整備局		
	基準雨量の設置状況		警戒基準雨量	y=1.018x+177		
			避難基準雨量	y=0.648x+156		
	雨量情報, 災害発生の予報, 被災情報等を伝達するシステムの整備				有	
	避難路の設定				有	
	避難場所の名称		川島コミュニティーセンター			
	避難場所の所在地		庄原市東城町川島918-1			
	避難場所の建築構造				木造	
	防災マップの配布等住民への防災知識・情報の周知状況				有	
	防災避難訓練等の実施状況				有	
危害のおそれのある土地等の調査	指定区域		指定の有無	指定年月日	告示番号	出典
	砂防指定地		無			管内図
	地すべり防止区域		無			管内図
	急傾斜地崩壊危険区域		無			管内図
	指定区域		指定の有無	出典		
	保安林		無	土地利用調整総合支援ネットワークシステム		
	保安施設地区		無	保安林施設地区台帳		
	災害危険区域		無	広島県北部建設庄原支所管内図		
	宅地造成工事規制区域		無	広島県北部建設庄原支所管内図		
	人口集中地区		無	国土情報ウェブマッピングシステム		
	市街化区域		無	土地利用調整総合支援ネットワークシステム		
	市街化調整区域		無	土地利用調整総合支援ネットワークシステム		
	準都市計画区域		無	土地利用調整総合支援ネットワークシステム		
	離島振興対策実施地域		無	地域指定等区分図		
	過疎地域		有	地域指定等区分図		
	特定地域(総合保養地域整備法)		無	土地利用調整総合支援ネットワークシステム		
	国立公園		無	地域指定等区分図		
	国定公園		無	地域指定等区分図		
	県立自然公園		無	地域指定等区分図		
	緑地保全地区		無	土地利用調整総合支援ネットワークシステム		
原生自然環境保全地域		無	土地利用調整総合支援ネットワークシステム			
自然環境保全地域特別地区		無	土地利用調整総合支援ネットワークシステム			
建宅地の開動発向の調査況			10年前(H17)/15年前(H12)	5年前(H22)/10年前(H17)	現在(H27)/5年前(H22)	
	人口の変化	都市計画区域内	6.7%	-12.1%	0.0%	
		都市計画区域外	-14.2%	0.1%	-13.8%	
	都市計画区域の変遷		0.0%	0.0%	0.0%	
	地価公示の変化		0.0%	-11.3%	-24.4%	
			5年前(H22)~10年前(H17) /10年前(H17)~15年前(H12)	現在(H27)~5年前(H22) /5年前(H22)~10年前(H17)		
	建築確認申請		-25.0%	-21.2%		
農地転用		-	-45.7%			

様式-2(急)	基礎調査調書(4/4)
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	II-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅

設定根拠図

以下の情報を記載すること
 ・背景図…傾斜区分図
 ・起、終点設定根拠

様式-3(急)	設定根拠図
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	II-1-3964-1
箇所名	風防内(3694)
所在地	庄原市東城町川島



No. 1起点
開発可能地の端部

No. 7終点
その他(地形急変地点)

分類	項目	
決定根拠リスト	地形条件	・5m ・30°
	社会条件	・開発可能地がない
	その他条件	・隣接箇所がある(隣接箇所番号:) ・その他()

※その他については、地形急変地点等を示す。

横断面図

コメント

現地の地形と砂防基盤図が異なっていたため、現地で確認した断面を反映した。

システム出力横断の空いたスペースに以下の情報を記入すること

- ・現地写真
- ・現地測量結果
- ・コメント

様式-4(急)	横断面図
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	II-1-3964-1
箇所名	風防内(3694)
所在地	庄原市東城町川島

横断形状と写真に違いは無いか。

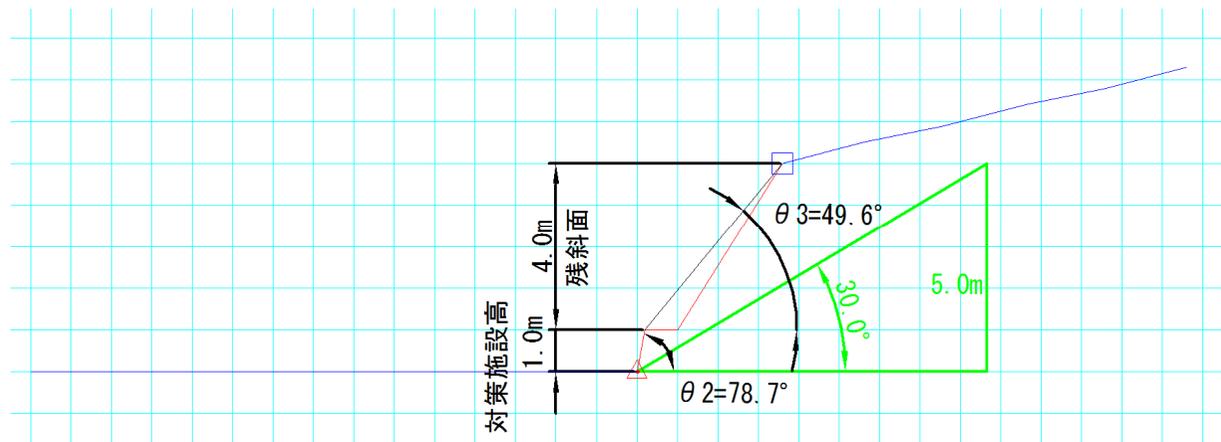
写真



危険のおそれのある土地の範囲
 著しい危険のおそれのある土地の範囲
 移動の力が建物の耐力を上回る範囲
 堆積の力が建物の耐力を上回る範囲
 堆積の高さが3mを上回る範囲



現地計測結果



傾斜度 $\theta = 54.24^\circ$
 斜面高さ $h = 5.00\text{m}$

著しい危害のおそれのある土地等の設定資料

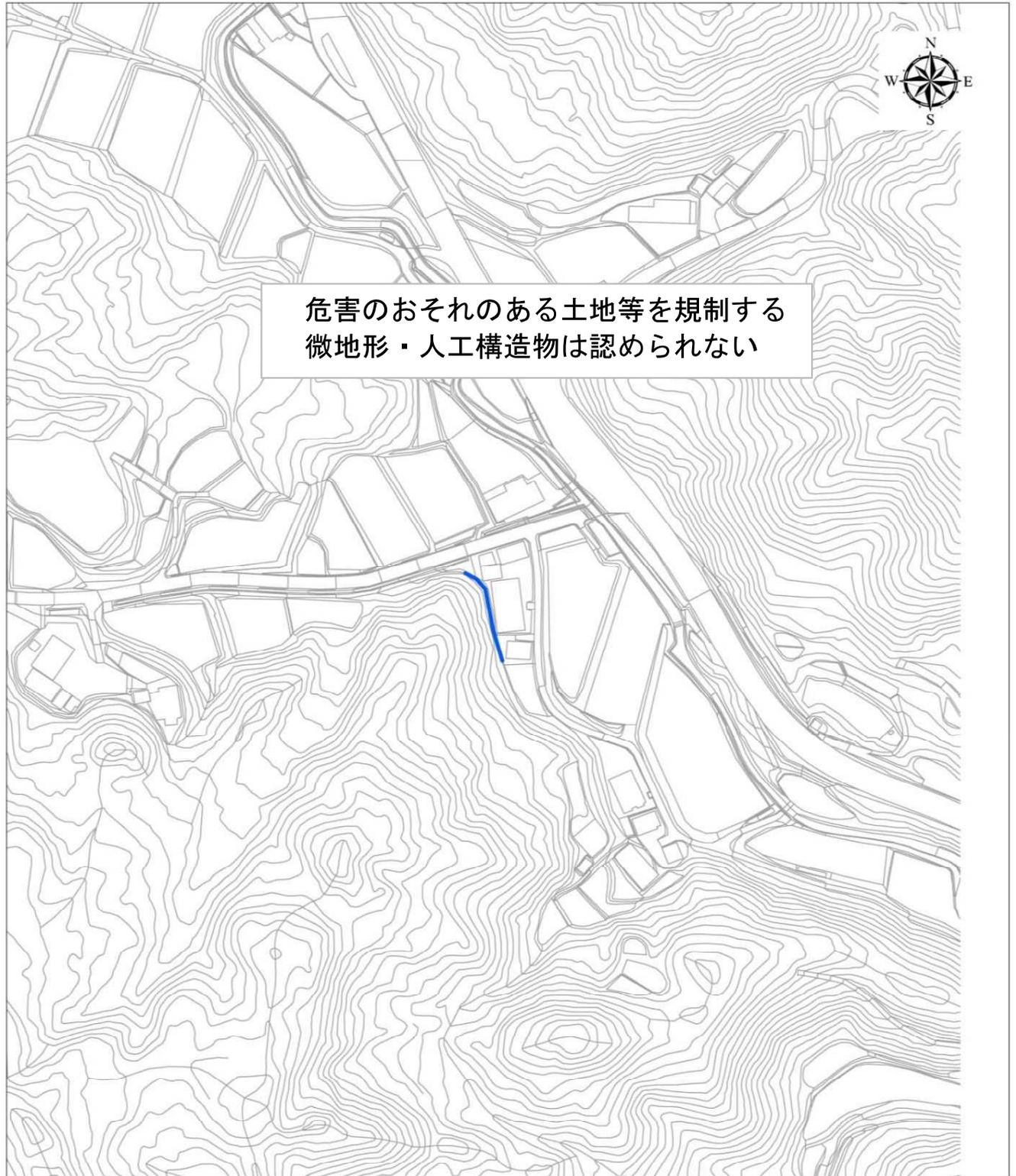
作成資料／作成不要資料 に間違いは無いか。

様式-5 (急)	内訳
設定資料①斜面高さ・傾斜度・崩壊土量・崩壊幅及び力の算出	○
設定資料②危害のおそれのある土地等の地形	○
設定資料③危害のおそれのある土地等の調査	○
設定資料④対策施設等状況調査及び安全性の確認	○
設定資料⑤災害実績調査表	○
設定資料⑥世帯数・人家戸数及び公共施設調査	○
設定資料⑦上・下端位置と地物との位置関係	○
設定資料⑧その他	作成不要
設定資料⑨起終点決定の根拠	○

様式-5 (急)	著しい危害のおそれのある土地等の設定資料
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	II-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅

危害のおそれのある土地等の地形
(微地形・人工構造物)
(著しい危害のおそれのある土地)

様式-5(急)	著しい危害のおそれのある土地の設定資料②
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	Ⅱ-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅



— 下端線

見取り図（写真撮影位置図）

様式-5(急)	著しい危害のおそれのある土地の設定資料③
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	Ⅱ-1-3964-1
箇所名	風防内(3694)
所在地	庄原市東城町川鳥



P 1



全景

P 2



全景

P 3



起点

P 4



終点

P 5



下端状況

P 6

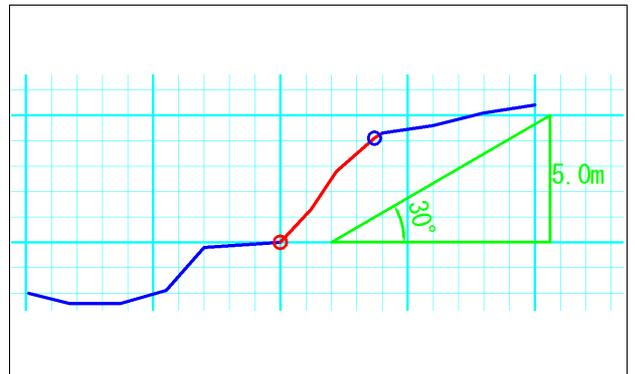


下端状況

P 7



下端状況



No. 0-1.0m確認断面

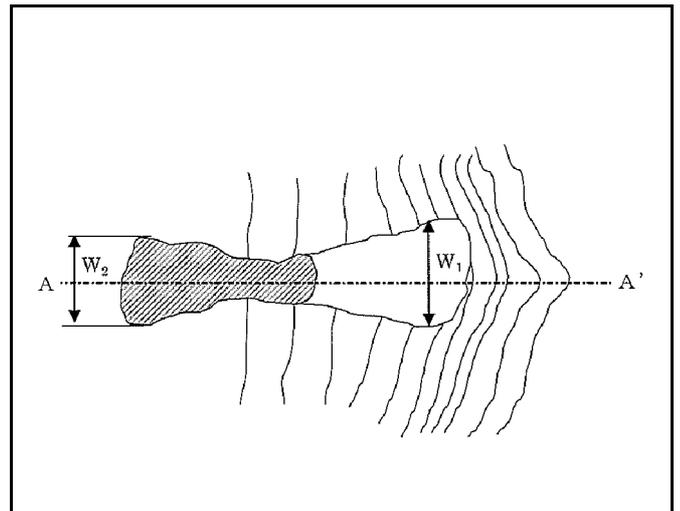
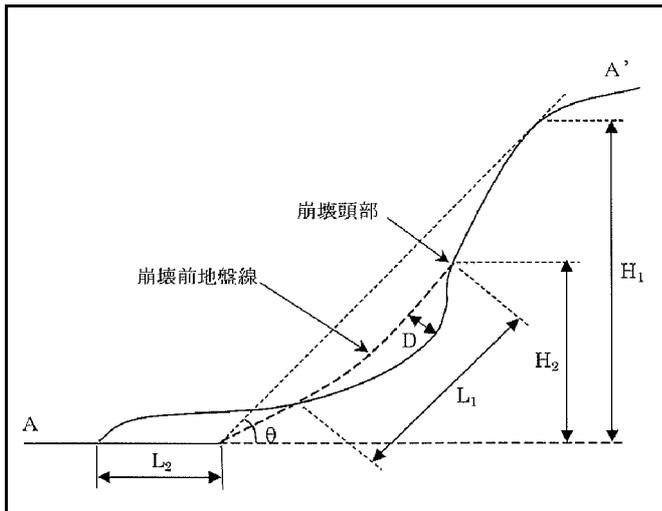
写真で起、終点の設定根拠が分かりにくい場合は、
区域外の地形を計測し断面図をつけても良い

災害実績調査表

災害実績無し

様式-5(急)	著しい危害のおそれのある土地の設定資料⑤
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	Ⅱ-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅

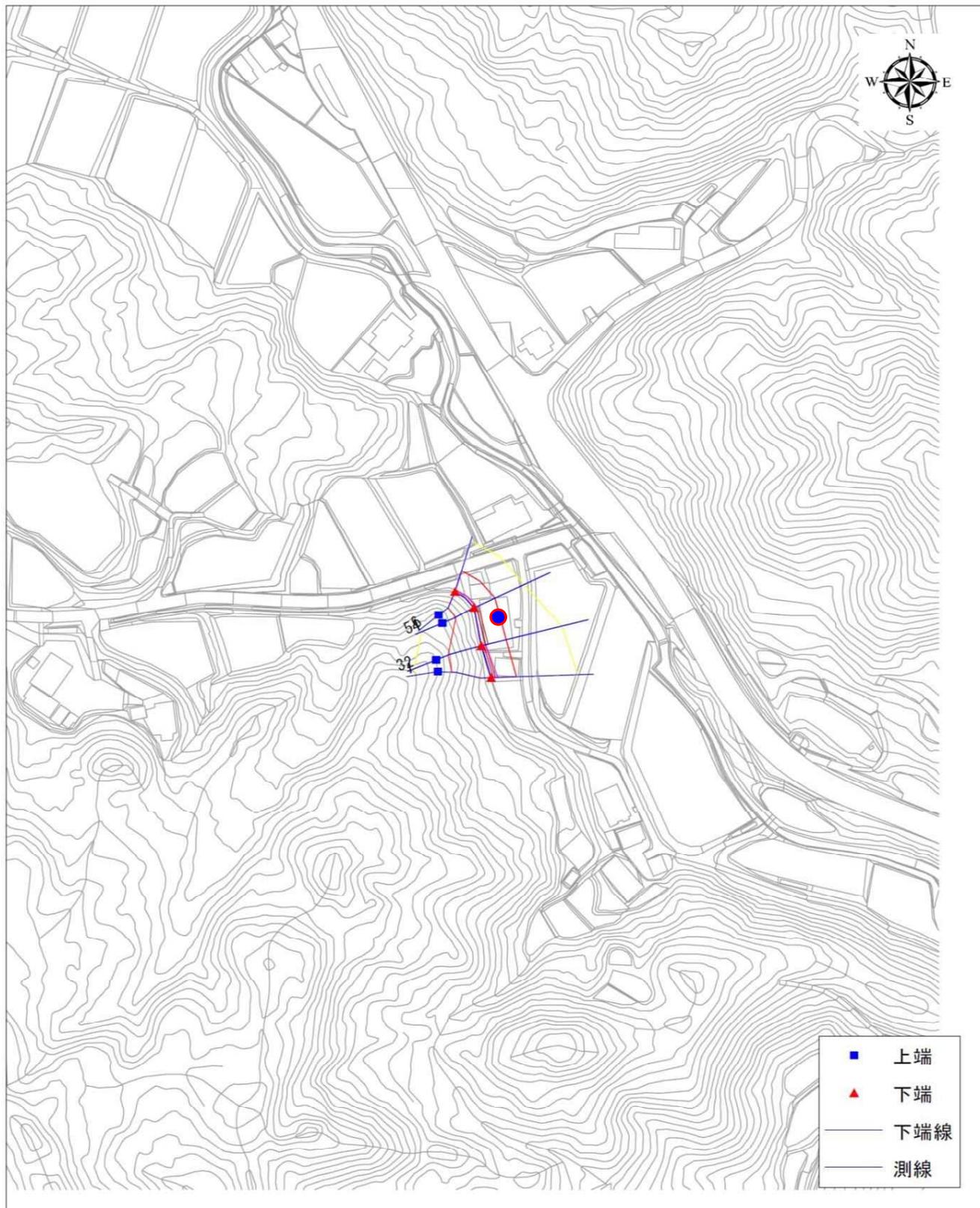
発生年月日	発生時間	-		発生位置	斜面下部		
崩壊の規模	急傾斜地の高さH1 (m)		崩壊地の傾斜度 θ (°)				
	崩壊高H2 (m)		崩壊深 D (m)				
	崩壊幅W1 (m)		土石等の広がり幅 W2 (m)				
	崩壊長L1 (m)		土石等の到達距離 L2 (m)				
	土石等の量(実績) (m ³)						
人的被害の状況	死傷者数		負傷者数				
被災家屋	斜面上部	木造(戸)	全壊		半壊		一部破損
		非木造(戸)	全壊		半壊		一部破損
	斜面下部	木造(戸)	全壊		半壊		一部破損
		非木造(戸)	全壊		半壊		一部破損
降雨量	発生時までの連続雨量 (mm)		発生時までの日雨量 (mm)				
	発生時までの24時間雨量 (mm)		発生時までの時間雨量 (mm)				
	発生時までの最大時間雨量 (mm)						



世帯数・人家戸数および公共施設調査

●	戸建住宅	●	共同住宅
●	公共的建物	●	要配慮者利用施設
○	木造	○	非木造

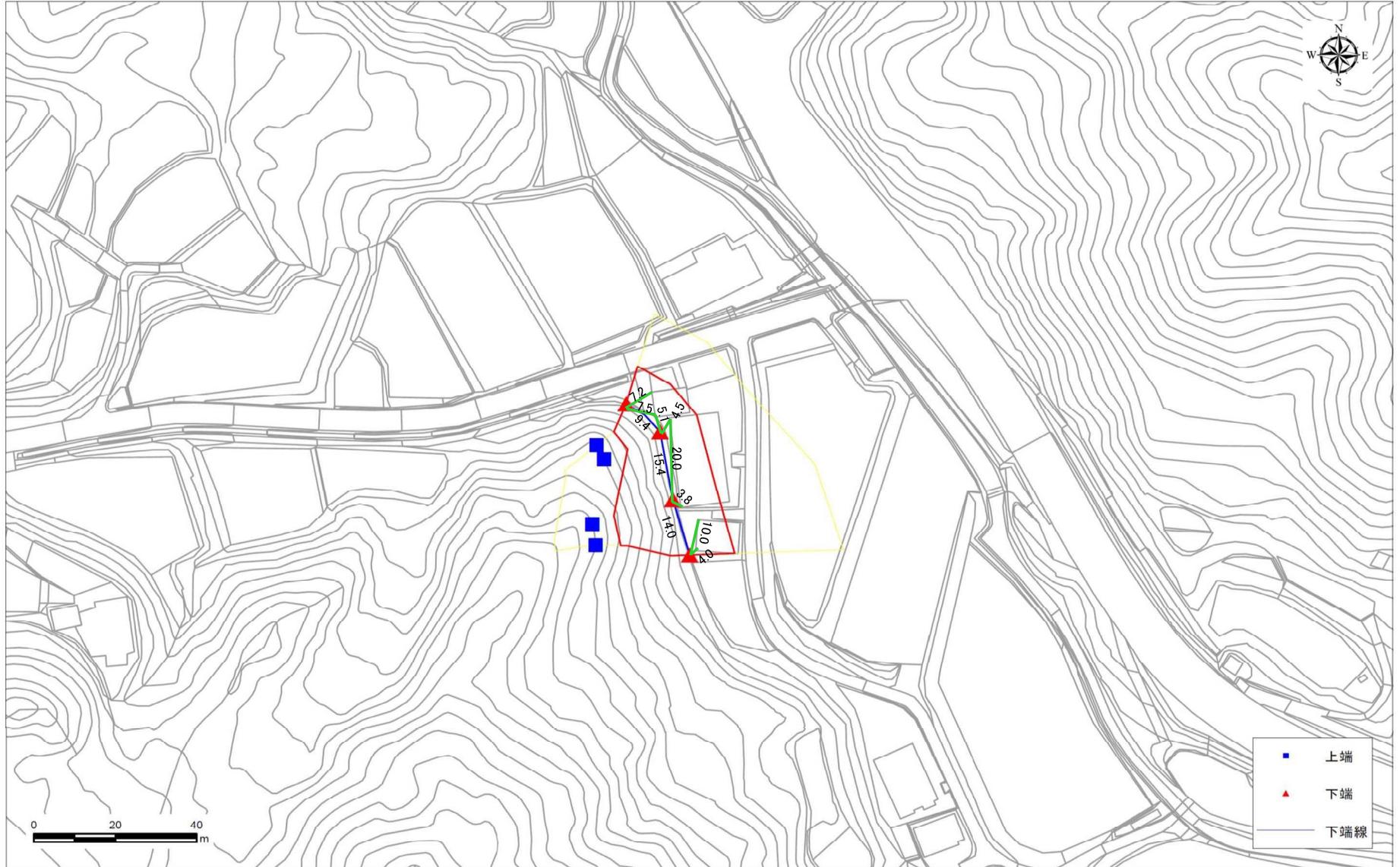
様式-5(急)	著しい危害のおそれのある土地の設定資料⑥
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	Ⅱ-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅



上・下端位置と地物との位置関係

下端位置が2箇所以上の地物と関連付けられているか。

様式-5(急)	著しい危害のおそれのある土地の設定資料⑦
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	II-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅



様式-5(急)	著しい危害のおそれのある土地の設定資料⑦
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	II-1-6039
箇所名	此谷1982
所在地	広島市安佐北区安佐町飯室

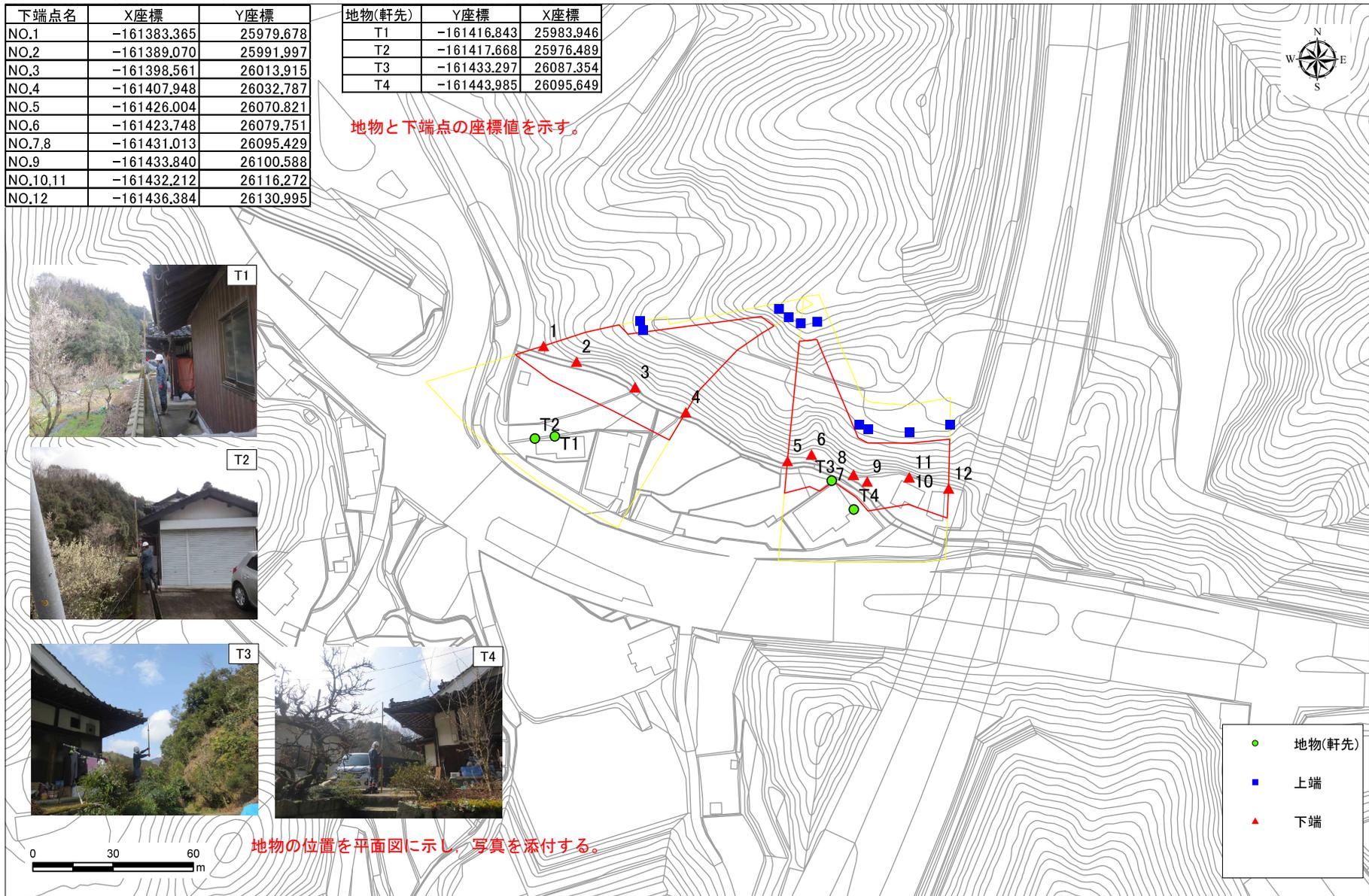
座標系を示す。

座標系は地物を基準とした任意座標系

下端点名	X座標	Y座標
NO.1	-161383.365	25979.678
NO.2	-161389.070	25991.997
NO.3	-161398.561	26013.915
NO.4	-161407.948	26032.787
NO.5	-161426.004	26070.821
NO.6	-161423.748	26079.751
NO.7.8	-161431.013	26095.429
NO.9	-161433.840	26100.588
NO.10.11	-161432.212	26116.272
NO.12	-161436.384	26130.995

地物(軒先)	Y座標	X座標
T1	-161416.843	25983.946
T2	-161417.668	25976.489
T3	-161433.297	26087.354
T4	-161443.985	26095.649

地物と下端点の座標値を示す。



地物の位置を平面図に示し、写真を添付する。

- 地物(軒先)
- 上端
- ▲ 下端

その他

様式-5(急)	著しい危害のおそれのある土地の設定資料⑧
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	Ⅱ-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅

作成不要

作成不要

起終点決定の根拠

分 類	項 目	
起点の 決定根拠 No.1	地形条件	<input type="checkbox"/> 5m <input type="checkbox"/> 30° <input type="checkbox"/> 地形変化点
	社会条件	<input type="checkbox"/> 開発可能地がない
	その他条件	<input type="checkbox"/> 隣接箇所がある（隣接箇所番号： <input type="checkbox"/> その他（
終点の 決定根拠 No.5	地形条件	<input type="checkbox"/> 5m <input type="checkbox"/> 30° <input type="checkbox"/> 地形変化点
	社会条件	<input type="checkbox"/> 開発可能地がない
	その他条件	<input type="checkbox"/> 隣接箇所がある（隣接箇所番号： <input type="checkbox"/> その他（

分 類	項 目	
起点の 決定根拠 No.	地形条件	<input type="checkbox"/> 5m <input type="checkbox"/> 30° <input type="checkbox"/> 地形変化点
	社会条件	<input type="checkbox"/> 開発可能地がない
	その他条件	<input type="checkbox"/> 隣接箇所がある（隣接箇所番号： <input type="checkbox"/> その他（
終点の 決定根拠 No.	地形条件	<input type="checkbox"/> 5m <input type="checkbox"/> 30° <input type="checkbox"/> 地形変化点
	社会条件	<input type="checkbox"/> 開発可能地がない
	その他条件	<input type="checkbox"/> 隣接箇所がある（隣接箇所番号： <input type="checkbox"/> その他（

分 類	項 目	
起点の 決定根拠 No.	地形条件	<input type="checkbox"/> 5m <input type="checkbox"/> 30° <input type="checkbox"/> 地形変化点
	社会条件	<input type="checkbox"/> 開発可能地がない
	その他条件	<input type="checkbox"/> 隣接箇所がある（隣接箇所番号： <input type="checkbox"/> その他（
終点の 決定根拠 No.	地形条件	<input type="checkbox"/> 5m <input type="checkbox"/> 30° <input type="checkbox"/> 地形変化点
	社会条件	<input type="checkbox"/> 開発可能地がない
	その他条件	<input type="checkbox"/> 隣接箇所がある（隣接箇所番号： <input type="checkbox"/> その他（

様式-5(急)	著しい危害のおそれのある土地等の設定資料⑨
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	II-1-3964-1
箇所名	風防内（3694）
所在地	庄原市東城町川島

著しい危害のおそれのある土地等の座標管理図表

様式-6(急)	座標管理図表
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	II-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅

作成不要

点の記

作成不要

様式-7(急)	点の記
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	II-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅

点の記

測点名		観測年月	
		標識の種類	
所在地		箇所番号	
		箇所名	
X座標			
Y座標		標高	
使用した座標系	<input type="checkbox"/> 日本測地系		
	<input checked="" type="checkbox"/> 世界測地系		
	<input type="checkbox"/> 任意座標系		
備考			
位置図			
写真			

上・下端位置読み取り座標表（システムによる）

縮尺：1/1,000



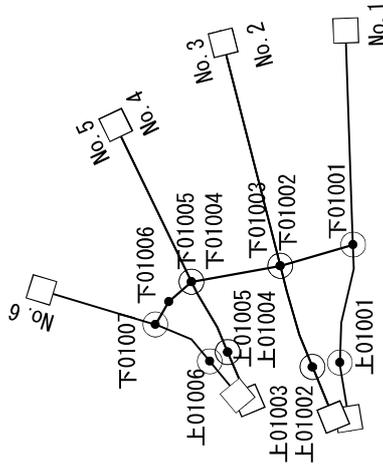
参考-1 (急)	上・下端位置読み取り座標表 (システムによる)
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	II-1-3964-1
箇所名	八幡 (3964-1)
所在地	庄原市東城町菅

急傾斜上端座標一覧表

構成点番号	X座標	Y座標
上01001	-117217.484	96182.721
上01002	-117212.184	96181.917
上01003	-117212.184	96181.917
上01004	-117195.685	96184.789
上01005	-117195.685	96184.789
上01006	-117192.155	96182.979

急傾斜下端座標一覧表

構成点番号	X座標	Y座標
下01001	-117220.049	96205.862
下01002	-117205.889	96201.706
下01003	-117205.889	96201.706
下01004	-117188.654	96198.545
下01005	-117188.654	96198.545
下01006	-117184.225	96194.704
下01007	-117181.582	96190.184



凡例	
○	上端・下端点
⊕	復元用基準点
□	横断測量の測線

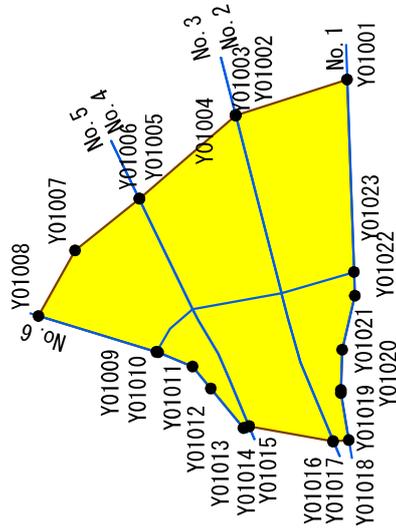
使用した座標系	
□	日本測地系
■	世界測地系
□	任意座標系

警戒区域読み取り座標表（システムによる）

参考-2(急)	警戒区域読み取り座標表(システムによる)
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	II-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅



1:1,000



危険のおそれのある土地等の座標管理表	X座標	Y座標
構成点番号		
Y01001	-117218.709	96243.538
Y01002	-117196.986	96236.587
Y01003	-117196.986	96236.587
Y01004	-117196.986	96236.587
Y01005	-117178.247	96220.171
Y01006	-117178.247	96220.171
Y01007	-117165.758	96210.032
Y01008	-117158.623	96197.176
Y01009	-117181.895	96190.089
Y01010	-117181.895	96190.089
Y01011	-117188.621	96187.277
Y01012	-117192.155	96182.979
Y01013	-117198.506	96175.255
Y01014	-117199.595	96175.585
Y01015	-117199.595	96175.585
Y01016	-117215.998	96172.673
Y01017	-117215.998	96172.673
Y01018	-117219.002	96172.847
Y01019	-117217.468	96182.138
Y01020	-117217.484	96182.721
Y01021	-117217.706	96190.552
Y01022	-117220.216	96201.161
Y01023	-117220.049	96205.861

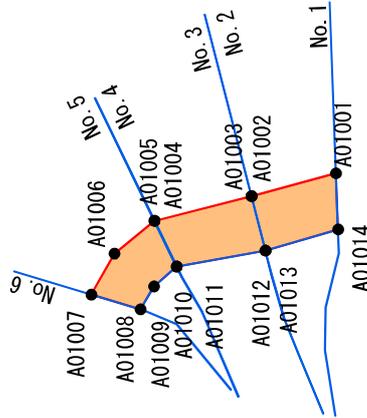
特別警戒区域読み取り座標表（システムによる）

参考-3(急)	特別警戒区域読み取り座標表(システムによる)
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	II-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅



1:1,000

著しい危害のおそれのある土地等の土地等の座標管理表
移動の力が建物の耐力を上回る区域
および斜面内の特別警戒区域



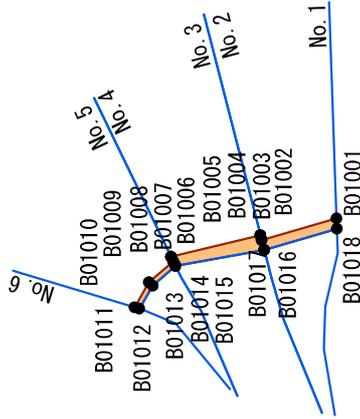
構成点番号	X座標	Y座標
A01001	-123456.001	-654321.001
A01002	-123456.002	-654321.002
A01003	-123456.003	-654321.003
A01004	-123456.004	-654321.004
A01005	-123456.005	-654321.005
A01006	-123456.006	-654321.006
A01007	-123456.007	-654321.007
A01008	-123456.008	-654321.008
A01009	-123456.009	-654321.009
A01010	-123456.010	-654321.010
A01011	-123456.011	-654321.011
A01012	-123456.012	-654321.012
A01013	-123456.013	-654321.013
A01014	-123456.014	-654321.014

特別警戒区域読み取り座標表（システムによる）

参考-3(急)	特別警戒区域読み取り座標表(システムによる)
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	II-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅



1:1,000



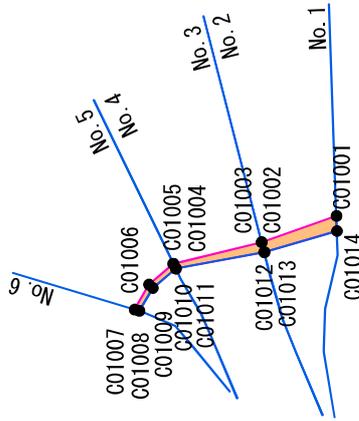
著しい危害のおそれのある土地等の座標管理表 堆積の力が建物の耐力を上回る区域 および斜面地内の特別警戒区域		
構成点番号	X座標	Y座標
B01001	-117219.978	96207.860
B01002	-117205.394	96203.643
B01003	-117205.394	96203.643
B01004	-117205.147	96204.612
B01005	-117205.147	96204.612
B01006	-117187.787	96200.347
B01007	-117187.787	96200.347
B01008	-117188.221	96199.446
B01009	-117188.221	96199.446
B01010	-117183.456	96195.343
B01011	-117180.625	96190.475
B01012	-117181.582	96190.184
B01013	-117184.225	96194.704
B01014	-117188.654	96198.545
B01015	-117188.654	96198.545
B01016	-117205.889	96201.705
B01017	-117205.889	96201.705
B01018	-117220.049	96205.861

特別警戒区域読み取り座標表（システムによる）

参考-3(急)	特別警戒区域読み取り座標表(システムによる)
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	II-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅



1:1,000



著しい危害のおそれのある土地等の座標管理表

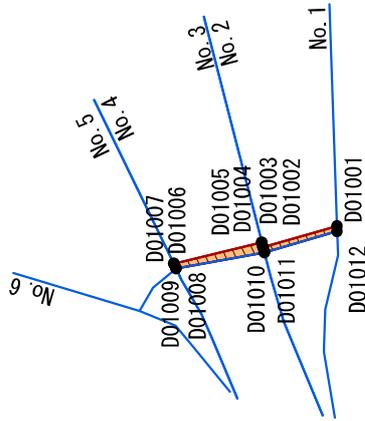
移動による力が100kN/m ² を上回る区域 構装点番号	X座標	Y座標
C01001	-987654.001	-456789.001
C01002	-987654.002	-456789.002
C01003	-987654.003	-456789.003
C01004	-987654.004	-456789.004
C01005	-987654.005	-456789.005
C01006	-987654.006	-456789.006
C01007	-987654.007	-456789.007
C01008	-987654.008	-456789.008
C01009	-987654.009	-456789.009
C01010	-987654.010	-456789.010
C01011	-987654.011	-456789.011
C01012	-987654.012	-456789.012
C01013	-987654.013	-456789.013
C01014	-987654.014	-456789.014

特別警戒区域読み取り座標表（システムによる）

参考-3(急)	特別警戒区域読み取り座標表(システムによる)
自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
箇所番号	II-1-3964-1
箇所名	八幡(3964-1)
所在地	庄原市東城町菅



1:1,000



著しい危害のおそれのある土地等の座標管理表

構成点番号	X座標	Y座標
D01001	-117220.013	96206.861
D01002	-117205.641	96202.674
D01003	-117205.641	96202.674
D01004	-117205.394	96203.643
D01005	-117205.394	96203.643
D01006	-117188.221	96199.446
D01007	-117188.221	96199.446
D01008	-117188.654	96198.545
D01009	-117188.654	96198.545
D01010	-117205.889	96201.705
D01011	-117205.889	96201.705
D01012	-117220.049	96205.861

照査結果凡例
 ○:修正不要 △:要確認 ×:修正必要 -:照査対象ではない

1. 調査対象箇所の確認

確認内容：対象範囲内の調査対象箇所が抽出・整理されているかを確認する。

確認成果：発注者確認協議時の箇所抽出図〔土石流〕（1/25000）、調査対象箇所の一覧表

	確認内容	チェック項目		備考
		従来手法	システム利用	
共通	基礎調査会社において、調査の内容について事前に照査を行っている。 抽出条件の設定は正しいか。 (過疎地域・都市計画区域は考慮されているか。)			
	人家等のない箇所がある場合、開発可能地は条件を満たしているか。			
	開発計画の策定区域を確認しているか。			
	法律により土地利用が制限されている区域が考慮されているか。			
	既往箇所と新規抽出箇所が整理されているか。			
	調査対象箇所と対象外箇所が整理されているか。 隣接小学校区の調査状況を確認しているか。 また、調査されている場合、整合をとっているか。			
	土石流	対象外とした土石流危険渓流が整理されているか。		
流域面積が0.0095km ² 未満で対象外とした渓流が整理されているか。				
砂防指定地の場合、砂防全体計画等の上位計画の確認を行っているか。				
1/25,000地形図を基に地形条件を把握して抽出作業を行っているか。				
机上・現地により社会条件を把握し、空き家を含む保全対象・開発可能地の確認が行われているか。				

※ ：見直し渓流については記入しない。

2. 机上区域設定

確認内容：現地調査、測量作業を行う前に、机上で設定された危害のおそれのある土地等が妥当かを確認する。

確認成果：現地調査準備用平面図〔土石流〕（1/2500～1/25000）

	確認内容	チェック項目		備考
		従来手法	システム利用	
土石流	基準地点の位置と設定根拠は妥当か。			
	基準地点の渓床勾配は妥当か。(目安 5°～20°)			
	仮設定された流下方向は妥当か。			
	危害のおそれのある土地が仮設定されているか。			
	主渓流・副渓流に分類されているか。			
	基準地点の位置は現地確認後のものか。			
	谷次数区分図を基に侵食深・侵食幅の現地調査地点を設定しているか。			
	危害のおそれのある土地内に河川、掘割道路、人工構造物等の確認を行っているか。			

※渓床勾配は、5°～20°の条件を満たしていない場合でも、基準地点の地形条件を満足していれば、その旨を「備考」に記載する。

3. 現地調査・測量成果の確認

確認内容：必要な現地調査、測量が行われているか確認する。

確認成果：現地調査野帳、写真

	確認内容	チェック項目		備考
		従来手法	システム利用	
土石流	土質状況（砂及び砂礫）を確認したか。			
	基準地点の位置と根拠を現地で確認したか。			
	流下方向（流下方向の折れ点位置、直進性の採用方向）を現地で確認したか。			
	侵食深・侵食幅の現地調査地点は著しく密・粗でないか。			
	侵食深、侵食幅の決定根拠が現地確認されているか。			
	侵食幅相当の写真が撮影されているか。			
	侵食深・侵食幅は横断面、写真、現地調査結果で整合しているか。			
	侵食可能土砂量に計算間違いはないか。 【注：最小値1,000m ³ 】			
	運搬可能土砂量に計算間違いはないか。 【注：計画規模降雨量は地域により採用値を選択】			
	土石流により流下する土石等の量（施設効果量を見込む）に計算間違いはないか。			

4. 設定条件の確認			
確認内容：現地調査ならびに測量成果を基に設定した危害のおそれのある土地等の地形条件を確認する。			
確認成果：様式-1（土），様式-6（土）⑩			
確認内容	チェック項目		備考
	従来手法	システム利用	
土石流	基準地点の位置と設定根拠は妥当か。		
	横断構造物を基準地点とした場合、落差の下方位置を基準地点としているか。		
	基準地点の渓床勾配は妥当か。（5°～20°が目安）		
	土石流の直進性の開始位置と方向は妥当か。		
	土石流の流下方向の変化点の位置は妥当か。		

※渓床勾配は、5°～20°の条件を満たしていない場合でも、基準地点の地形条件を満足していれば、その旨を「備考」に記載する。

5. 対策施設等状況調査			
確認内容：対策施設に対する効果の有無および効果評価について確認する。			
確認成果：様式-6（土）④、様式-6（土）⑤			
確認内容	チェック項目		備考
	従来手法	システム利用	
土石流	人工構造物の調査（位置、形状計測）がなされているか。		
	未満砂のえん堤について安定計算が行われているか。 （土石流対策として施工されているえん堤については不要）		
	不透過型堰堤の空容量（貯砂量）を見込んでいる場合、除石計画が確認されているか。		
	えん堤の効果量はマニュアル記載のフローに従っているか。		
	えん堤以外の施設の効果量はマニュアル記載のとおりか。		

6. 危害のおそれのある土地等の設定			
確認内容：危害のおそれのある土地、著しい危害のおそれのある土地の設定区域について確認する。			
確認成果：様式-1（土），様式-6（土）①、様式-6（土）②、様式-6（土）③、様式-6（土）⑧、様式-6（土）⑩			
確認内容	チェック項目		備考
	従来手法	システム利用	
土石流	危害のおそれのある土地		
	土石流分散角には谷出口の地形（開き具合）が考慮されているか。 （ただし、分散角は最大片岸30°とする）		
	警戒区域幅は、基準地点における区域の幅の30倍以上横断方向に広がっていないか。		
	末端の根拠は明確にされているか（2°、比高差5mなど）。 また、資料が整理されているか。		
	警戒区域内に比高差5m以上などの控除可能な土地が含まれていないか。 また、資料が整理されているか。		
	全体的に見て区域が歪な形状になっていないか。		
	著しい危害のおそれのある土地		
	現地調査結果を踏まえた、基準地点の位置、侵食深・侵食幅調査位置、施設位置を示した谷次数区分図となっているか。		
	明らかに土石等が到達しない土地がある場合、検討のうえ控除されているか。（根拠資料が整理されているか。）		
	レジーム基点より下流のR区域幅は地形の制約を受ける場合を除き、一定幅となっているか。		
	道路・鉄道盛土が存在する場合、マニュアル記載に従って評価されているか。		
	ため池がある場合、マニュアル記載のフローに従って評価されているか。 （ため池台帳に記載されているか。）		
	ボックスカルバートがある場合、マニュアル記載に従って評価されているか。（礫径の根拠は妥当か。）		
	著しい危害のおそれのある土地内で横断測線が交差していないか。		
	現況流路と流下方向に相違がある場合、R区域設定結果から判断して流下方向は妥当か。		
	全体的に見て区域が歪な形状になっていないか。		

7. 基礎調査調書の最終照査

確認内容: 調書で危害のおそれのある土地, 著しい危害のおそれのある土地の設定区域について確認する。

確認成果: 全様式

	確認内容	チェック項目		備考
		従来手法	システム利用	
表紙	結果一覧表, 土砂災害警戒区域等DBと箇所番号, 箇所名, 所在地は一致しているか。			
様式1	区域図: YRの形状が歪でないか。			
	区域図: 国土地理院の地図掲載が記載されているか。			
	所定の凡例となっているか			
様式2	土石流の高さと想定される力の最大: 様式6⑧の境界と表記が一致しているか。			
	1/4: 「調査対象箇所の抽出」, 「既往調査の対応」は抽出時の条件が示されているか。			
	1/4: 流域面積は様式6⑩と整合し, 小数点4桁までの表示, 0.0095km ² 以上となっているか。			
	1/4: 「平面形状」, 「人工構造物」は様式6⑩と整合しているか。			
	1/4: 「地質調査」は広島県における一般的な数値を使用しているか。			
	1/4: 「対策施設の状況」の記載は様式6①と整合しているか。			
	1/4: 「対策施設の効果評価」の記載は様式6④⑤と整合しているか。			
	2/4: 「一本谷の侵食可能土砂量」と「運搬可能土砂量」, 「想定土石流出区間」, 「流下する土石等の量」は様式6③と整合しているか。			
	3/4: 「世帯数及び人家戸数」は様式6⑩と整合しているか。	—		
	3/4: 共同住宅の世帯数のカウントは妥当か。 (1部屋1世帯, R区域を除く世帯数, 一部の場合該当箇所のみ)			
3/4: 共同住宅のR区域の世帯数のカウントは妥当か。 (非木造: 1階のみ, 木造: 全世帯数, 一部の場合該当箇所のみ)				
4/4: 記載漏れは無いか。				
様式3	地形図に測線, 測線番号, 基準地点, 流下方向, YR区域, 対策施設, 方位, パースケールが記載されているか。			
様式4	基準地点・流下方向・Y区域設定の根拠, 対策施設効果量, 基準地点位置のY区域幅, Y区域下流端勾配, Y区域最大幅, Y区域最大分散角が記載されているか。			
様式4	数値の読み取りが可能か。			
様式5	数値の読み取りが可能か。			
様式6	作成資料/作成不要資料に間違いはないか。			
	①: 凡例どおりの図が作成されているか。			
	②: 集水面積, 断面番号は様式6①と整合しているか。			
	③: 侵食可能土砂量の計算に用いる値は様式6①②と整合しているか。			
	③: 運搬可能土砂量算出の流域面積は様式6⑩と整合しているか。			
	③: 計画規模降雨量は当該地区の降雨量となっているか。			
	③: 渓床勾配は様式6⑧の基準地点勾配と整合しているか。			
	④: 対策施設状況調査結果の記載は妥当か。			
	⑤: 対策施設の安全性確認書の記載は妥当か。			
	⑥: 災害実績がある場合, 調査内容が記載されているか。			
	⑦: 人工構造物や河川及び規制される地形などの撮影漏れは無いか。			
	⑦: 写真と撮影位置が整合しているか。			
	⑧: 「土石流により流下する土砂量」は様式6③と整合しているか。			
	⑧: NO.0 地盤勾配は基準地点として妥当な数値か。			
	⑧: 測点位置の土石流の高さと土石流の流体力は様式6⑧と整合しているか。			
	⑧: 様式11に示す採用値が着色されているか。			
	⑩: 基準地点流下方向が様式-1 様式-3と整合しているか。			
⑩: 設定根拠は妥当か。				
⑪: 所定様式で記載できない場合, 調査結果を様式6⑪に記載しているか。 (設定根拠資料となる台帳等の資料)		—		
⑪: 戸建住宅等が記載されているか。 注: 木造, 非木造の区分はR区域内のみでよい。	—			
様式7	警戒区域の座標値が記載されているか。	—		
様式8	特別警戒区域の座標値が記載されているか。	—		
参考1	警戒区域の座標値が記載されているか。	—		
参考2	特別警戒区域の座標値が記載されているか。	—		

青字…基礎調査業者による社内照査の着目点
紫字…総括・補助業者による照査の着目点
赤字…変更になった様式

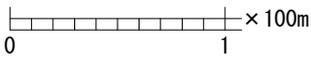
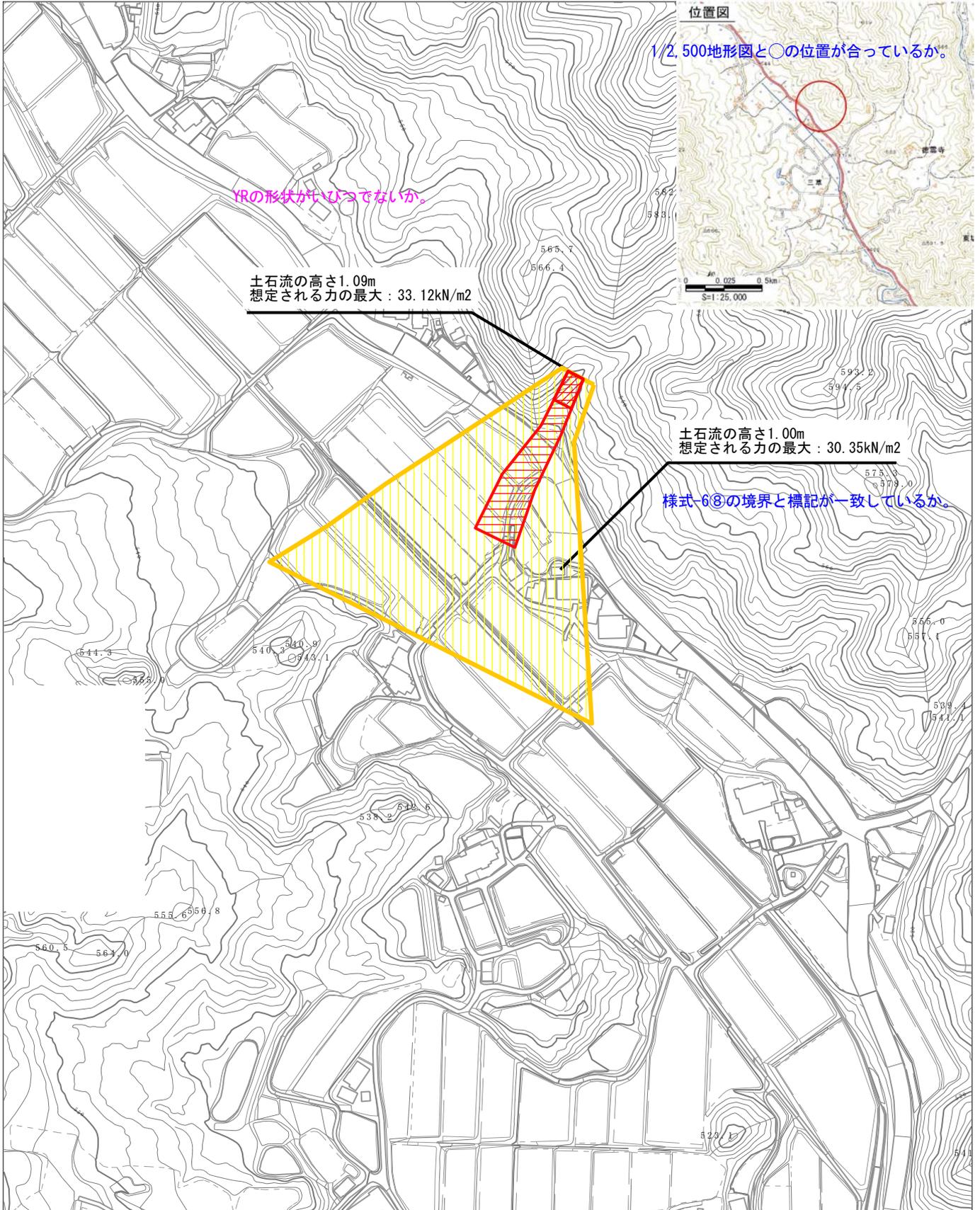
結果一覧表，土砂災害警戒区域DBと箇所番号，箇所名，所在地は一致しているか。

自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川鳥
施工番号	27831-000-0000
基礎調査担当会社名	〇〇コンサルタント

様式目録

- 様式-1(土) 平面図
- 様式-2(土) 基礎調査調書(1/4)
- 様式-2(土) 基礎調査調書(2/4)
- 様式-2(土) 基礎調査調書(3/4)
- 様式-2(土) 基礎調査調書(4/4)
- 様式-3(土) 縦横断測線位置図
- 様式-4(土) 縦断図
- 様式-5(土) 横断図
- 様式-6(土) 著しい危害のおそれのある土地の設定資料
- 様式-7(土) 警戒区域読み取り座標表
- 様式-8(土) 特別警戒区域座標管理表
- 参考-1(土) 警戒区域読み取り座標表(システムによる)
- 参考-2(土) 特別警戒区域読み取り座標表(システムによる)

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 区域図



所定の凡例になっているか。

土砂災害警戒区域	土砂により建築物に作用すると予想される力が50kN/m ² を超える区域		N 縮尺 1:2,500
土砂災害特別警戒区域	土砂により建築物に作用すると予想される力が50kN/m ² 以下の区域		
	土砂の高さが1mを超える区域		
	土砂の高さが1m以下の区域		

様式-1	平面図
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川島

基礎調査調書(1/4)

調査対象箇所 の抽出	地形条件	谷地形を呈している(谷幅<奥行き)		●				
		谷地形を呈していない(谷幅≥奥行き)が、土石流・土砂流の履歴がある						
		谷地形を呈していない(谷幅≥奥行き)が、土石流発生のおそれがあると予想される						
	社会条件	人家等のある溪流	人家5戸以上または公共的建物又は要配慮者利用施設のある溪流	●				
人家等のない溪流		人家5戸未満						
既往調査との対応		危険箇所番号	-					
		危険箇所名	-					
使用図面	写真撮影年月日	平成22年11月	縮尺	1/2,500				
	図化年月	平成27年7月	新規・修正の区分	新規				
	種類	砂防基盤図						
基礎調査履歴	回数	調査年月	理由					
	第1回	平成28年3月	土砂災害防止法基礎調査(初回調査)					
告示履歴	告示回数	告示番号	指定・解除年月	理由				
地形調査	おそれのある 土石流の発生 の 溪流	番号	1	調査方法	砂防基盤図で机上設定し、現地で地形を確認			
		設定条件	谷出口	様式-3(土) 設定根拠図 に示す	扇頂部	様式-3(土) 設定根拠図 に示す		
			勾配変化点		屈曲部			
			狭窄部出口		土石流氾濫実績			
			横断構造物					
	流域面積(km ²)	0.043(4桁まで表示)	渓床勾配	様式-4(土)縦断図に示す				
	渓床の状況	様式-6(土)①②③に示す						
	おそれのある 土地それ 等	地盤勾配	様式-4(土)縦断図に示す					
		横断形状	様式-5(土)横断図に示す					
		平面形状	河道屈曲部	-	狭窄部	-		
谷底平野			-	平坦地(住宅地・耕地)	-			
人工構造物		道路	-	その他特徴的な地形	-			
	盛土(道路・鉄道等)	-	橋梁	-				
	暗渠	-	擁壁	-				
	トンネル	-	その他特徴的な構造物	-				
地質調査	土石流に含まれる礫の密度(10 ³ kg/m ³)		2.6					
	土石流に含まれる流水の密度(10 ³ kg/m ³)		1.2					
	土石流に含まれる土石等の内部摩擦角(°)		35					
	粗度係数		0.1					
	堆積土石等の容積濃度		0.6					
対策施設等 状況調査	対策施設の状況 (既存施設規模)	砂防えん堤	0基	治山えん堤	0基	所管不明えん堤	0基	
		溪流保全工	0m	床固工	0基	山腹工	0基	
		導流工	0基	その他施設			0基	
	対策施設の 効果評価	見込 施設 効果 を	砂防えん堤	0基	治山えん堤	0基	所管不明えん堤	0基
			溪流保全工		床固工	0基	山腹工	0基
			導流工		その他施設			0基
		施設 効果量	砂防えん堤	0m ³	治山えん堤	0m ³	所管不明えん堤	0m ³
			溪流保全工	0m ³	床固工	0m ³	山腹工	0m ³
			導流工		その他施設			
			合計					
災害実績調査		様式-6(土)⑥に示す						

抽出時の
条件が示さ
れているか。

様式-6⑩と整合しているか。

様式-6⑦と
整合して
いるか。

標準値
でよいか。

様式-6①
と整合して
いるか。

様式-6④⑤
と整合して
いるか。

様式-2(土)	基礎調査調書(1/4)
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川島

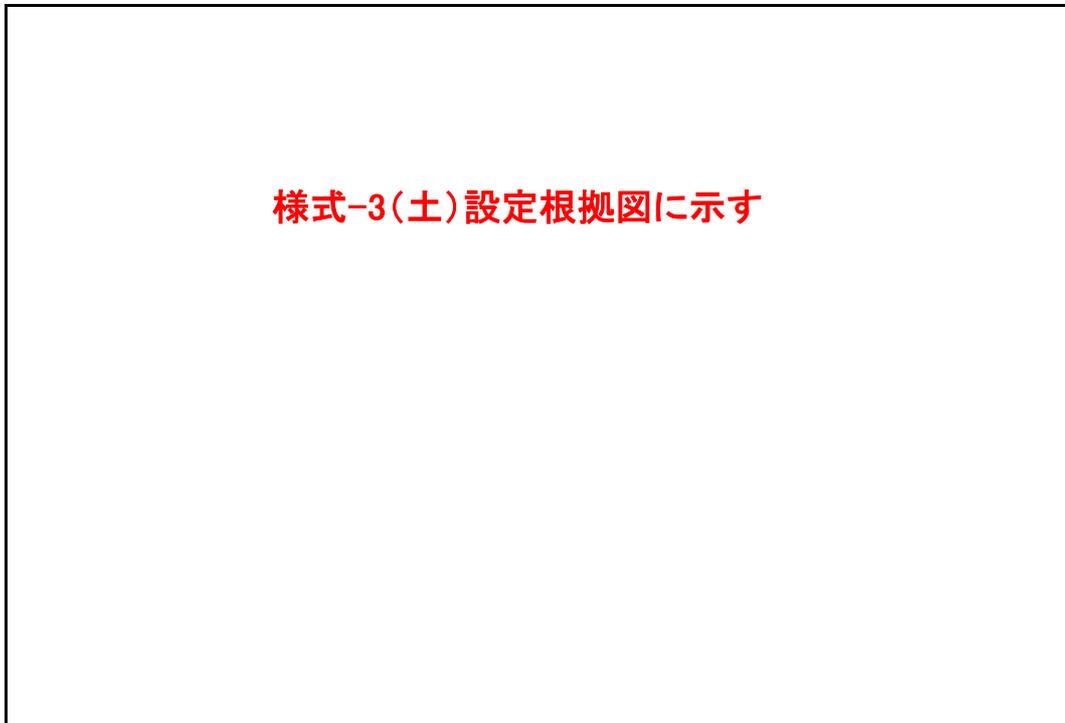
基礎調査調書(2/4)

危害のおそれのある土地の設定	流下方向	現況流路	平面形状	土石流直進性	
		その他	様式-3(土)設定根拠図に示す		
	土石流分散角	様式-3に示す	基準地点流下幅	様式-3に示す	
	下流端確定方法	様式-3に示す		計測値	
危害のおそれのある土地等の設定	基準地点	一本谷の侵食可能土砂量	2,856m ³	運搬可能土砂量	3,727m ³
		想定土石流流出区間長	309m	流下する土石等の量	2,856m ³
		地盤勾配	10.48°	土石流ピーク流量	55.69m ³ /s
		マニング型の式による流下幅	11.38m	レジーム型の式による流下幅	29.85m
		土石流流下幅	11.38m	土石流の高さ	1.09m
		土石流の流速	4.51m/s		
		流動中の土石流の土石等の密度			1.64t/m ³
		土石流により建築物に作用すると想定される力			33.12kN/m ²
		通常の建築物の耐力			7.20kN/m ²
	下流端	流下する土石等の量	2,222m ³	地盤勾配	9.53°
		土石流ピーク流量	49.34m ³ /s	マニング型の式による流下幅	-
		レジーム型の式による流下幅	29.78m	土石流流下幅	29.78m
		土石流の高さ	0.59m	土石流の流速	2.85m/s
		流動中の土石流の土石等の密度			1.58t/m ³
		土石流により建築物に作用すると想定される力			12.74kN/m ²
通常の建築物の耐力			12.06kN/m ²		
著しい危害のおそれのある土地の設定結果	土石流の高さが1mを超える区域		土石流により建築物に作用すると想定される力が50kN/m ² を超える区域	-	
			土石流により建築物に作用すると想定される力が50kN/m ² 以下の区域	●	
	土石流の高さが1m以下の区域			●	
著しい危害のおそれのある土地は発生しない					

様式-6③と整合しているか。

システム出力値

[概要図]



様式-2(土)	基礎調査調書(2/4)
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川鳥

基礎調査調書(3/4)

様式-6①と整合しているか。

		危害のおそれのある土地					著しい危害のおそれのある土地					
		道路	●	水路	●	池沼	道路	●	水路		池沼	
		宅地	●	農地	●	公園	宅地		農地	●	公園	
土地利用状況		山林	●	空地	●	その他	山林	●	空地	●	その他	
世帯数及び人家戸数	人家				1戸	非木造	人家				0戸	
							共同住宅				0棟 0世帯	
	共同住宅				0棟 0世帯	木造	人家				0戸	
							共同住宅				0棟 0世帯	
		危害のおそれのある土地					著しい危害のおそれのある土地					
道路・鉄道などの公共施設		種 類	施設名称(延長, 基数)					施設名称(延長, 基数)				
		JR										
		私鉄										
		高速道										
		国道	国道314号 97m									
		県道										
		市町村道										
		その他道路										
		河川										
		橋梁										
		その他										
公共施設等の状況		種 類	施設名称(延長, 基数)		施設名称(延長, 基数)		建築構造					

様式-2(土)	基礎調査調書(3/4)
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川島

基礎調査調書(4/4)

記載漏れはないか。

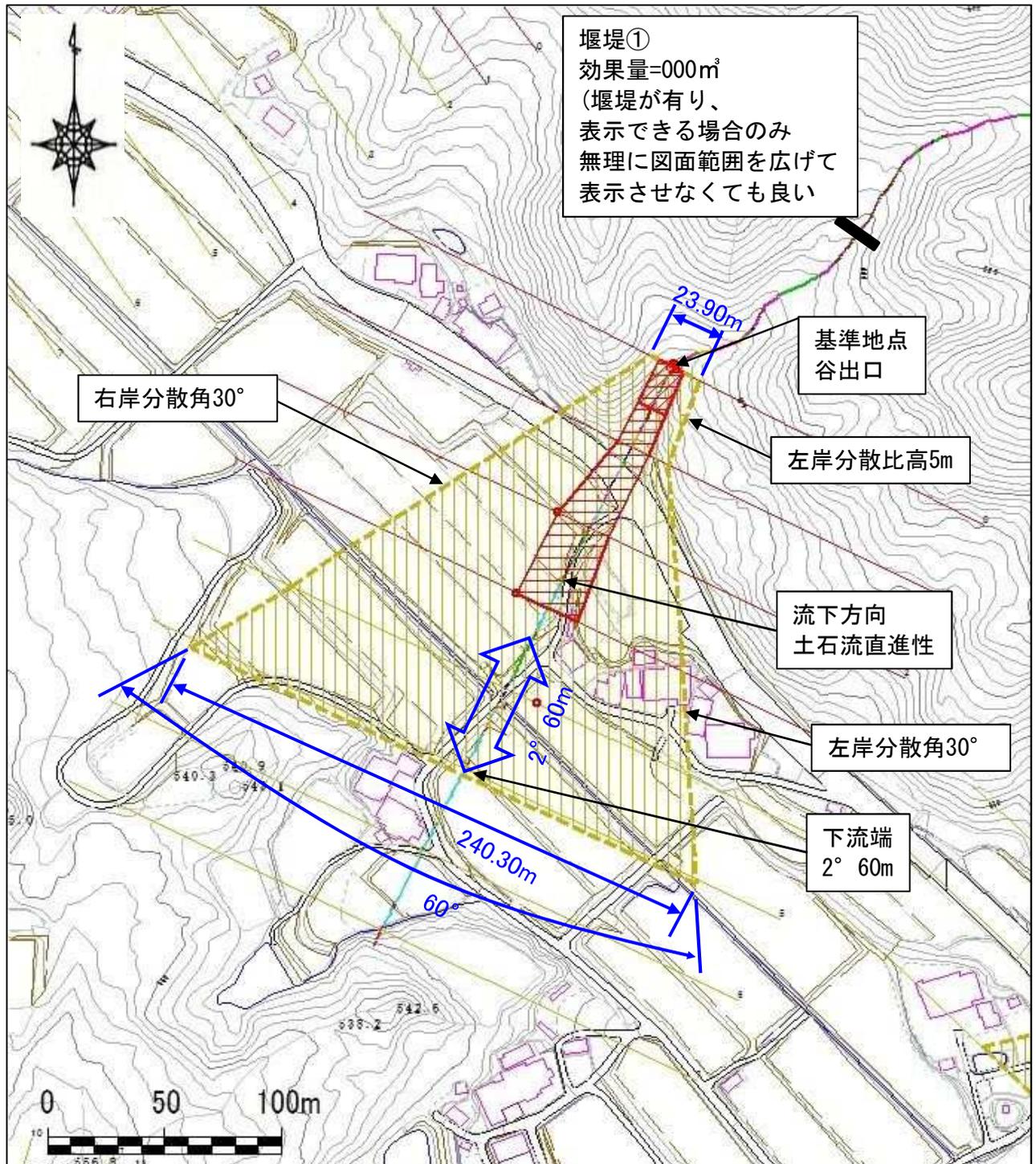
警戒避難体制に関する調査	土砂災害警戒区域・特別警戒区域の地域防災計画への記載				-		
	自主防災組織				有		
	伸縮計設置				無		
	その他地盤計測機器				無		
	最寄りに設置してある雨量計の位置		緯度	34°	57' 25'		
			経度	133°	13' 04'		
	最寄りに設置してある雨量計の管理者				中国地方整備局		
	基準雨量の設置状況		警戒基準雨量	$y=1.018x+177$	広島県警戒避難基準(東城町)		
			避難基準雨量	$y=0.648x+156$			
	雨量情報、災害発生の予報、被災情報等を伝達するシステムの整備				有		
	避難路の設定				有		
	避難場所の名称		八幡ふれあいプラザ				
	避難場所の所在地		庄原市東城町森52-3				
	避難場所の建築構造				木造		
	防災マップの配布等住民への防災知識・情報の周知状況				有		
防災避難訓練等の実施状況				有			
危害のおそれのある土地等の調査	指定区域		指定の有無	指定年月日	告示番号	出典	
	砂防指定地		無				管内図
	地すべり防止区域		無				管内図
	急傾斜地崩壊危険区域		無				管内図
	指定区域		指定の有無	出典			
	保安林		無	土地利用調整総合支援ネットワークシステム			
	保安施設地区		無	保安林施設地区台帳			
	災害危険区域		無	広島県北部建設庄原支所管内図			
	宅地造成工事規制区域		無	広島県北部建設庄原支所管内図			
	人口集中地区		無	国土情報ウェブマッピングシステム			
	市街化区域		無	土地利用調整総合支援ネットワークシステム			
	市街化調整区域		無	土地利用調整総合支援ネットワークシステム			
	準都市計画区域		無	土地利用調整総合支援ネットワークシステム			
	離島振興対策実施地域		無	地域指定等区分図			
	過疎地域		有	地域指定等区分図			
	特定地域(総合保養地域整備法)		無	土地利用調整総合支援ネットワークシステム			
	国立公園		無	地域指定等区分図			
	国定公園		無	地域指定等区分図			
	県立自然公園		無	地域指定等区分図			
	緑地保全地区		無	土地利用調整総合支援ネットワークシステム			
原生自然環境保全地域		無	土地利用調整総合支援ネットワークシステム				
自然環境保全地域特別地区		無	土地利用調整総合支援ネットワークシステム				
建宅地の開発動向の調査			10年前(H17)/15年前(H12)	5年前(H22)/10年前(H17)	現在(H27)/5年前(H22)		
	人口の変化	都市計画区域内	-7.7%	-9.2%	-7.6%		
		都市計画区域外	-7.5%	-8.5%	-4.7%		
	都市計画区域の変遷		0.0%	0.0%	0.0%		
	地価公示の変化		-15.2%	-7.7%	-16.7%		
			5年前(H22)~10年前(H17)/10年前(H17)~15年前(H12)	現在(H27)~5年前(H22)/5年前(H22)~10年前(H17)			
	建築確認申請		-25.0%	-20.0%			
農地転用		-	-50.0%				

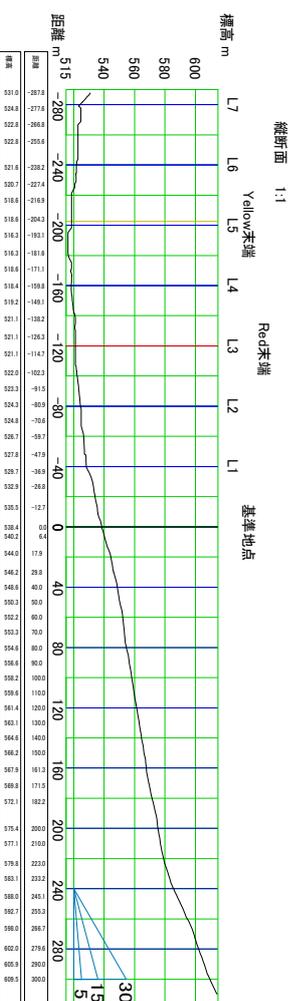
様式-2(土)	基礎調査調書(4/4)
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川鳥

様式-3(土)	設定根拠図
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川島

以下の情報を記載した様式にすること

- ・ 基準地点、流下方向、右左岸分散、下流端等の設定根拠
- ・ 対策施設位置とその効果量

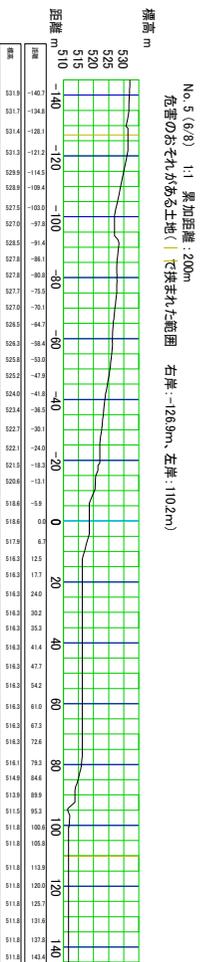
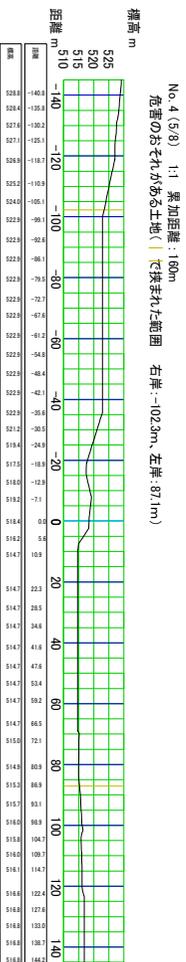
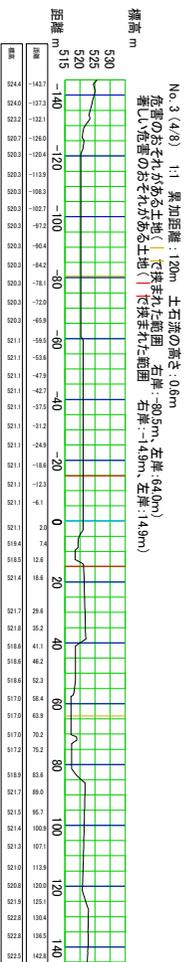
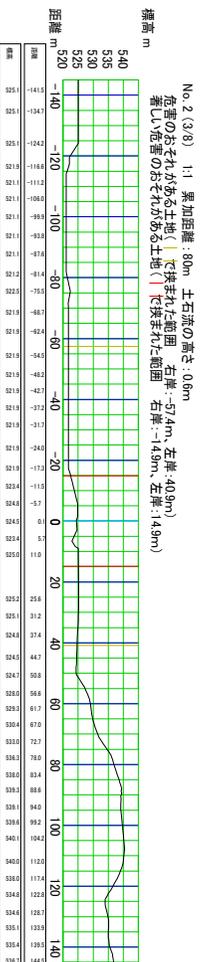
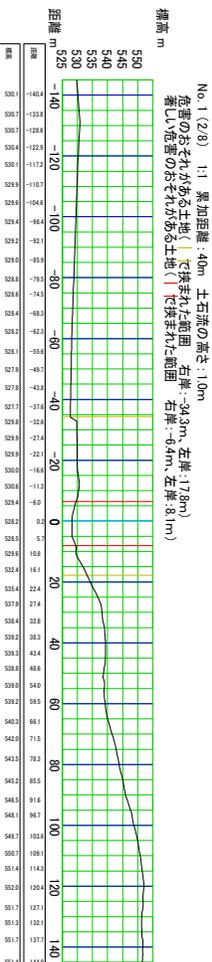
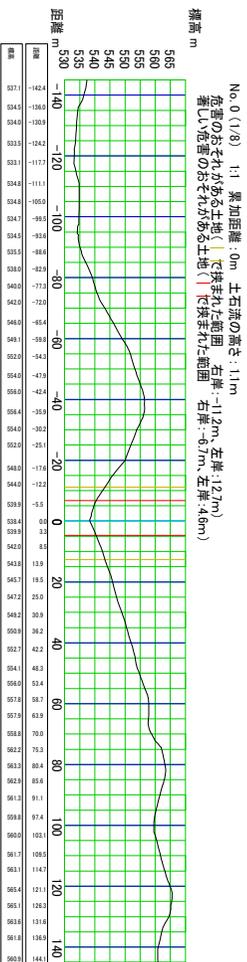




数値が読み取れるか。

縮尺 = 1:5,000

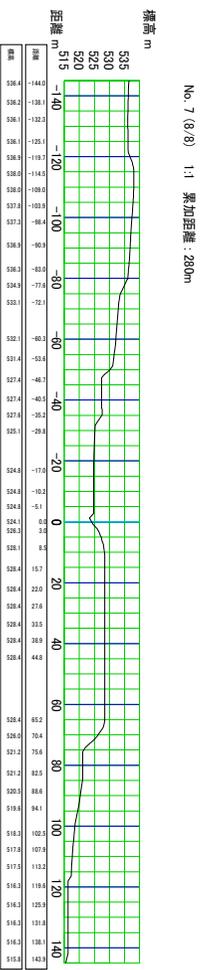
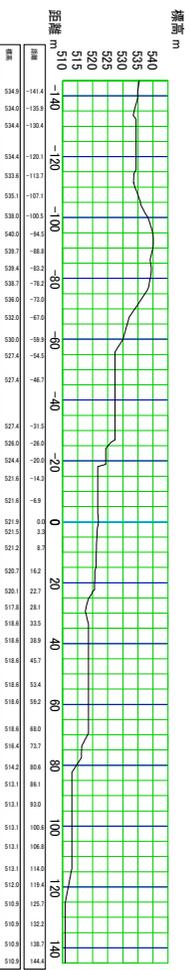
様式-4(土)	縦断面
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川島



数値が読み取れるか。

様式-5(土)	横断図(1/2)
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川島

縮尺 = 1:2,500



様式-5(土)	横断図(2/2)
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川島

縮尺 = 1:2500

著しい危害のおそれのある土地の設定資料

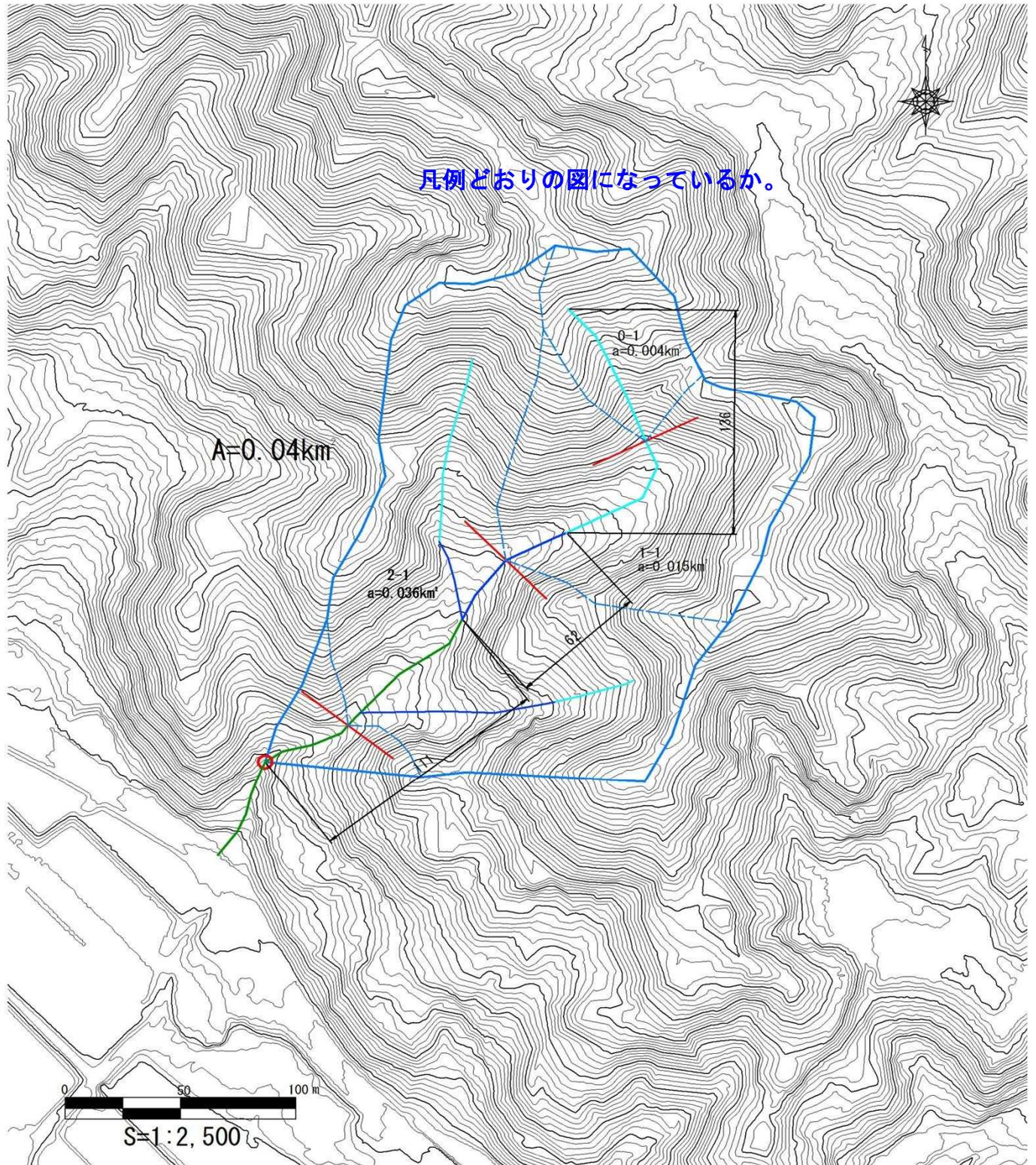
付図にまちがいはないか .

様式-6(土) 内 訳	
設定資料 ① 谷次数区分図・対策施設位置図	○
設定資料 ② 土砂量算定横断図	○
設定資料 ③ 土砂量計算書	○
設定資料 ④ 対策施設状況調査結果	作成不要
設定資料 ⑤ 対策施設の安全性確認書	作成不要
設定資料 ⑥ 災害実績調査表	作成不要
設定資料 ⑦ 平面形状調査資料・人工構造物調査資料	○
設定資料 ⑧ 著しい危害のおそれのある土地の判定表	○
設定資料 ⑨ 点の記または基準点位置図	作成不要
設定資料 ⑩ 流下方向ならびに基準地点の設定	○
設定資料 ⑪ 世帯数・人家戸数及び公共施設調査	○
設定資料 ⑫ その他	作成不要

様式-6(土)	著しい危害のおそれのある土地の設定資料
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川烏

0次谷		集水域界	
1次谷		砂防えん堤	
2次谷		治山えん堤	
3次谷		所管不明えん堤	
流域界		断面調査位置	

様式-6(土)①	谷次数区分図・対策施設位置図
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川鳥

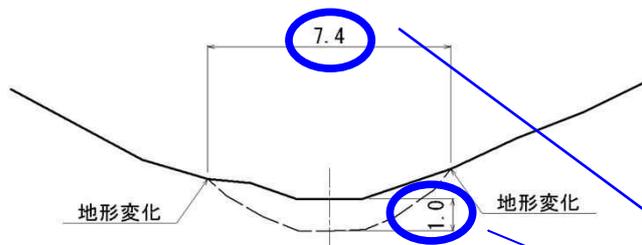


土砂量算定横断図

様式-6(土)②	土砂量算定横断図
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川島

【横断図】 断面番号: 0-1

集水面積: 0.004 km²



様式-6①と整合しているか。

整合しているか。

【現地調査結果】



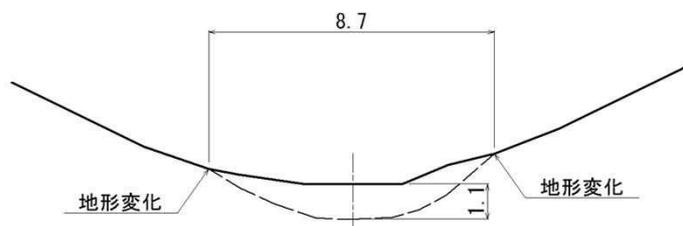
侵食深: 1.0 m
 侵食幅: 7.4 m
 侵食断面積 7.4 m²

【参考】

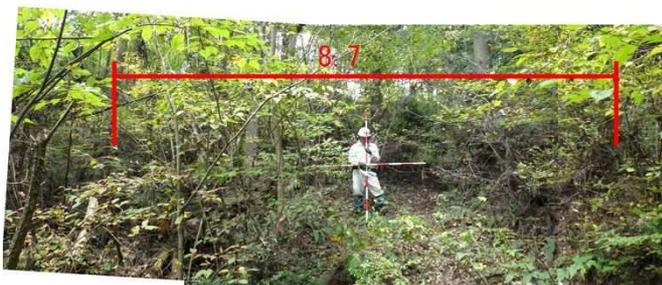
集水面積に基づく想定侵食深: 10.9 m
 集水面積に基づく想定侵食幅: 1.0 m
 (H27.5版基礎調査マニュアル p(二)-2-54より)

【横断図】 断面番号: 1-1

集水面積: 0.015 km²



【現地調査結果】



侵食深: 1.1 m
 侵食幅: 8.7 m
 侵食断面積 9.6 m²

【参考】

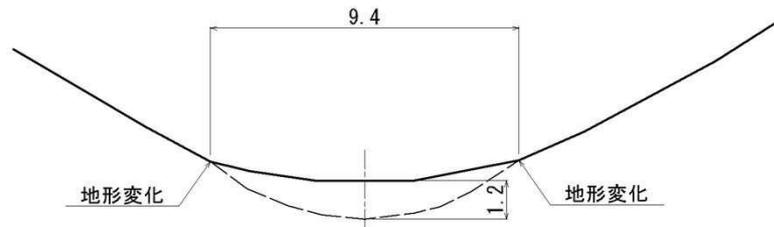
集水面積に基づく想定侵食深: 11.5 m
 集水面積に基づく想定侵食幅: 1.1 m
 (H27.5版基礎調査マニュアル p(二)-2-54より)

土砂量算定横断図

様式-6(土)②	土砂量算定横断図
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川島

【横断図】 断面番号: 2-1

集水面積: 0.036 km²



【現地調査結果】



侵食深: 1.2 m
 侵食幅: 9.4 m
 侵食断面積 11.3 m²

【参考】

集水面積に基づく想定侵食深: 1.2 m
 集水面積に基づく想定侵食幅: 12.6 m
 (H27.5版基礎調査マニュアル p(二)-2-54より)

【横断図】 断面番号:

集水面積: km²

【現地調査結果】

侵食深: m
 侵食幅: m
 侵食断面積: m²

【参考】

集水面積に基づく想定侵食深: m
 集水面積に基づく想定侵食幅: m
 (H27.5版基礎調査マニュアル p(二)-2-54より)

様式-6(土)④	対策施設状況調査結果
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川鳥

対策施設無し

様式-6(土)⑤	対策施設の安全性確認書
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川島

対策施設無し

発生年月日	
発生時刻	
災害発生要因	
発生位置(緯度)	
発生位置(経度)	

様式-6(土)⑥	災害実績調査表
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川鳥



災害実績無し

災害規模・状況

総流出土砂量(m ³)	
流下延長(m)	
流下部平均勾配(度)	
氾濫面積(m ²)	
平均堆積土砂厚(m)	
最大堆積土砂厚(m)	
氾濫最大延長(m)	
氾濫最大幅(m)	
氾濫開始地点勾配(度)	
氾濫収終息の勾配(度)	
最大礫径(m)	
最大流下幅(m)	

被害

人的被害の状況(人)	
死者	
行方不明者	
負傷者	重傷者
	軽傷者
被災戸数(戸)	
全壊	木造
	非木造
半壊	木造
	非木造
一部損壊	木造
	非木造

その他特記事項

気象

降雨量	
観測所名	
連続雨量(mm)	
最大24時間雨量(mm)	
最大時間雨量(mm)	
異常気象名	

凡 例

写真撮影方向・番号 P1 →

人工構造物 

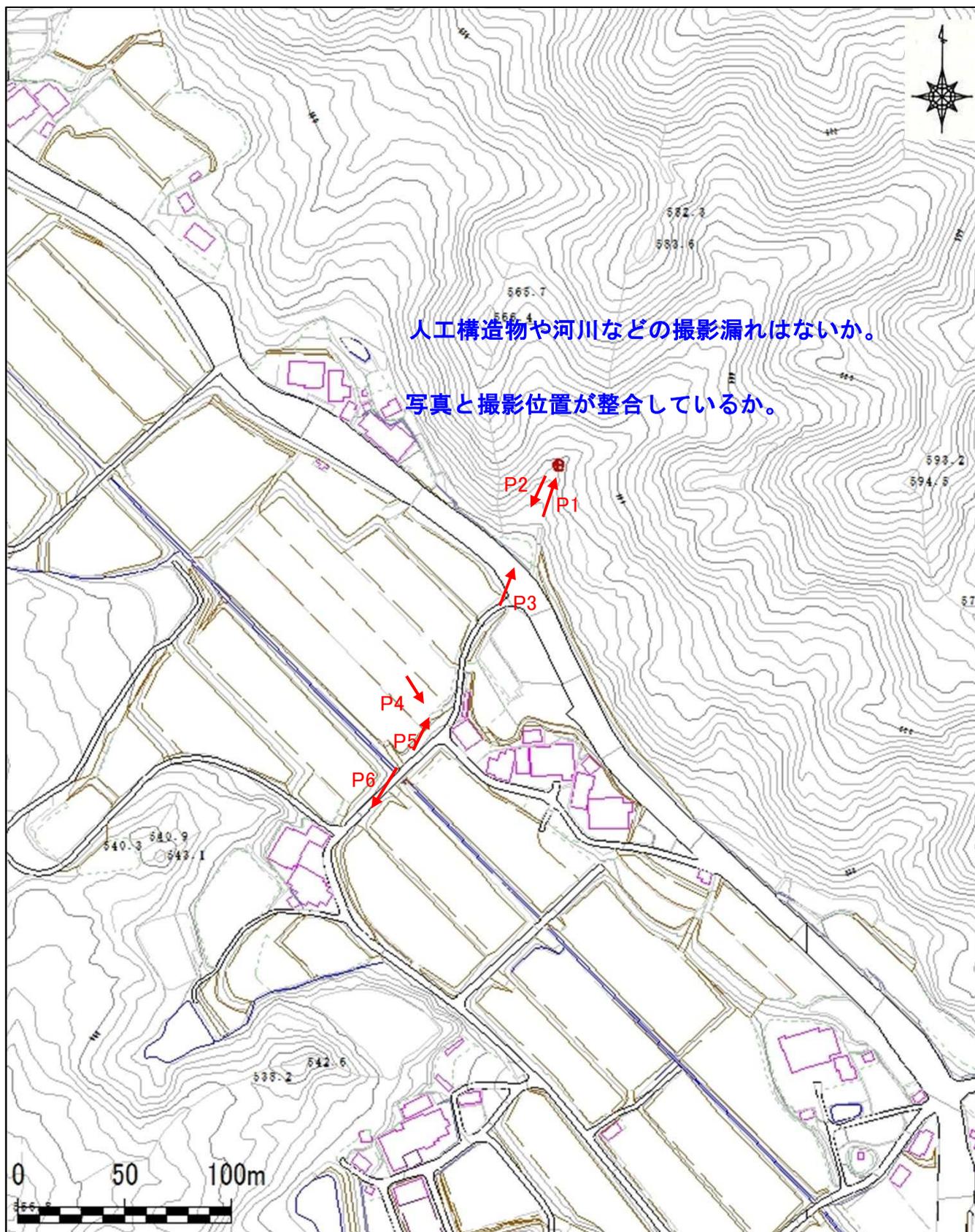
様式-6(土)⑦ 平面形状調査資料・人工構造物調査資料(1/2)

自然現象の種類 土石流

箇所番号 I-1-11-8869隣b

箇所名 三草(8869隣b)

所在地 庄原市東城町川島



現地写真

様式-6(土)⑦	平面形状調査資料・人工構造物調査資料(2/2)
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川鳥



P1 基準地点の状況



P2 基準地点の状況



P3 流下方向



P4 流下方向



P5 流下方向



P6 流下方向

作成不要

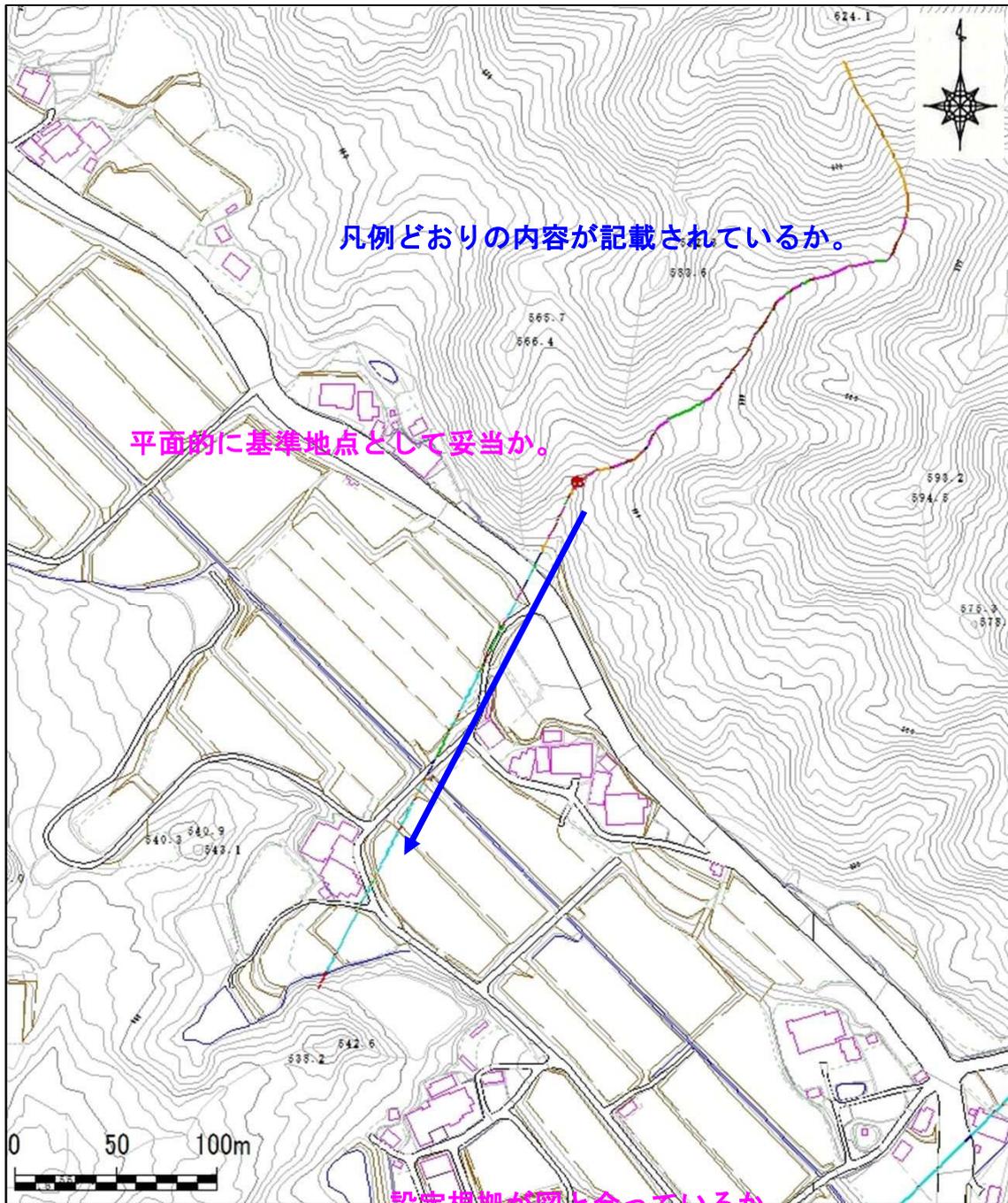
様式-6(土)⑨	点の記または基準点位置図
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川鳥

点の記

測点名		観測年月	
		標識の種類	
所在地		箇所番号	
		箇所名	
X座標		標高	
Y座標			
使用した座標系	<input type="checkbox"/> 日本測地系		
	<input checked="" type="checkbox"/> 世界測地系		
	<input type="checkbox"/> 任意座標系		
備考			
位置図			
写真			

基準地点	⊗
縦断測線	—●—●—●—●—
横断測線	—●—●—●—●—
土石流の流下方向	→

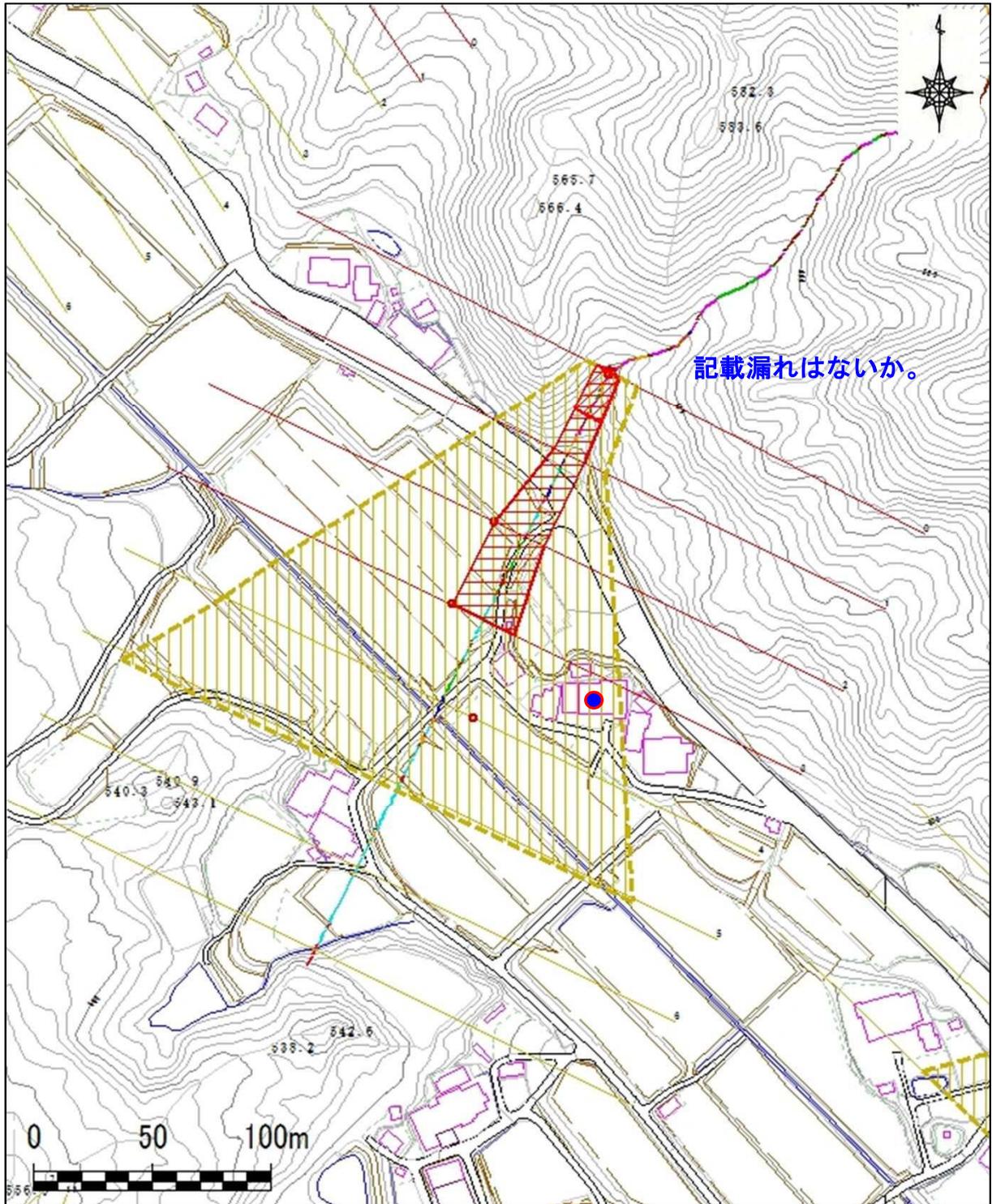
様式-6(土)⑩	流下方向ならびに基準地点の設定
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川鳥



基準地点の設定根拠	ほかに候補が考えられないか。 谷幅が広がり始める谷出口を基準地点とした。
土石流の流下方向の設定根拠	基準地点直下より土石流の直進性を考慮して谷の開口方向に直線的に設定した。

様式-6(土)⑪	世帯数・人家戸数及び公共施設調査
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川鳥

●	戸建住宅	●	共同住宅
●	公共的建物	●	要配慮者利用施設
○	木造	○	非木造



様式-6(土)⑫	その他
自然現象の種類	土石流
箇所番号	I-1-11-8869隣b
箇所名	三草(8869隣b)
所在地	庄原市東城町川島

作成不要

工程別チェックシート(案) (地すべり)

照査結果凡例

○:修正不要 △:要確認 ×:修正必要 -:照査対象ではない

Ver. H28.11

1. 調査対象箇所の確認			
確認内容: 調査対象区域が適切に抽出・整理されているかを確認する。			
確認成果: 基礎調査箇所位置図[地すべり](1/2500~1/25000)、調査対象箇所一覧表			
確認内容	チェック項目	備考	
共通 (口頭確認)	基礎調査会社において、調書の内容について事前に照査を行っている。		
	新規抽出の条件設定は正しいか。 (過疎地域・都市計画区域は考慮されているか。)		
	人家等のない箇所がある場合、開発可能地は条件を満たしているか。		
	開発計画の策定区域を確認しているか。		
	既往箇所と新規抽出箇所が整理されているか。 (地すべり防止区域、地すべり危険箇所等)		
地すべり	1/25,000または同等以上の大縮尺地形図を用いているか。		
	土砂災害防止法で適用する地すべり範囲を把握しているか。		
	対象外の地すべりと想定外の移動機構について把握しているか。		

2. 資料調査・机上調査			
確認内容: 調査対象箇所を抽出するための資料収集・机上調査(判読)が適切に行われているか確認			
確認成果: 基礎調査箇所位置図[地すべり](1/2500~1/25000)、判読図、様式-5(地)			
確認内容	チェック項目	備考	
地すべり	地すべり危険箇所調査報告書(最新版)を確認しているか。		
	該当地区の空中写真(新旧2種類以上)で確認しているか。 また、大縮尺で精度の良い写真確認及び利用しているか。		
	地質図(1/50,000または同等以上の大縮尺)を確認しているか。		
	1/2,500以上の地形図を用いて作業を実施しているか。		
	机上調査により作成する図面・調書が整理されているか。		

3. 現地調査及び設定条件の確認			
確認内容: 必要な調査、設定が行われているか確認する。			
確認成果: 現地調査結果図、様式-3(地)、様式-4(地)、様式-5(地)			
確認内容	チェック項目	備考	
地すべり	地すべり地形、地質の確認が行われているか。		
	地すべりブロック全体の輪郭、末端部の確認は適切か。		
	地すべりの滑動徴候が確認されているか。		
	地すべりの規模(方向、幅、長さ)及び地形区分図の記載は適切か。 (運動方向の確認がされているか)		
	地すべり対策施設の確認、状況調査及び地元住民等からの聞き取り調査が実施されているか。		
	現地踏査後の総合評価は適切か。 (現地調査により確認されたことがわかりやすく整理されているか)		

4. 土質調査			
確認内容: 土質定数を確認する。			
確認成果: 様式-5(地)			
確認内容	チェック項目	備考	
地すべり	土石等の単位堆積重量(γ)は妥当か。 また、決定根拠資料は適切に作成されているか。		
	土石等の内部摩擦角(ϕ)は妥当か。 また、決定根拠資料は適切に作成されているか。		

工程別チェックシート(案) (地すべり)

照査結果凡例

○: 修正不要 △: 要確認 ×: 修正必要 -: 照査対象ではない

5. 対策施設等状況調査及び過去の災害実績調査

確認内容: 対策施設の状況調査および効果評価について確認する。

確認成果: 様式-2(地)、様式-3(地)、様式-4(地)、様式-5(地)

	確認内容	チェック項目	備考
地すべり	対策施設の状況調査は妥当か。 (施工記録の把握、現地調査による把握等)		
	対策施設に対する効果評価は妥当か。 (対策施設の変状、観測データ等の把握)		
	過去の災害実績の確認をしているか。		

6. 危害のおそれのある土地等の設定

確認内容: 危害のおそれのある土地、著しい危害のおそれのある土地の設定区域について確認する。

確認成果: 様式-1(地)、様式-3(地)、様式-4(地)、様式-5(急)

	確認内容	チェック項目	備考
地すべり	危害のおそれのある土地		
	区域設置対象の地すべりブロックの選定は適切か。		
	地すべりブロックの確定度ランクの区分は適切か。		
	判定基準の資料が適切に作成されているか。		
	対策施設の効果評価が適切に反映されているか。		
	明らかに土石等が到達しない土地(河川・掘削道路等)の設定は妥当か。		
	危害のおそれのある土地の区域が適切に表示されているか。 (運動方向に対して適切に設定されているか) (下方は下端から最大250m以内となっているか)		
	著しい危害のおそれのある土地		
	現地調査等により求められたデータを用いて、著しい危害のおそれのある土地の設定をしているか。		
	地質調査等により求めた土質定数等を使用して計算されているか。		
	移動土塊の堆積の力及び建築物の耐力は告示式により求められているか。		
	対策施設がある場合、効果評価が適切に反映されているか。		
	地すべり下方の区域設定は妥当か。 (運動方向に対して適切に設定されているか) (最大60m以内となっているか)		
	区域設定における計算等の取り決め(計算結果の表示桁数)が適切に反映されているか。		

見 本

自然現象の種類	地滑り
箇所番号	
箇所名	〇〇地区
所在地	

様式目録

- 様式-1(地)平面図
- 様式-2(地)基礎調査調書(1/3)
- 様式-2(地)基礎調査調書(2/3)
- 様式-2(地)基礎調査調書(3/3)
- 様式-3(地)下端(座標管理)・縦断測線位置図
- 様式-4(地)縦断面図
- 様式-5(地)著しい危害のおそれのある土地等の設定資料
- 様式-6(地)座標管理図表
- 様式-7(地)点の記

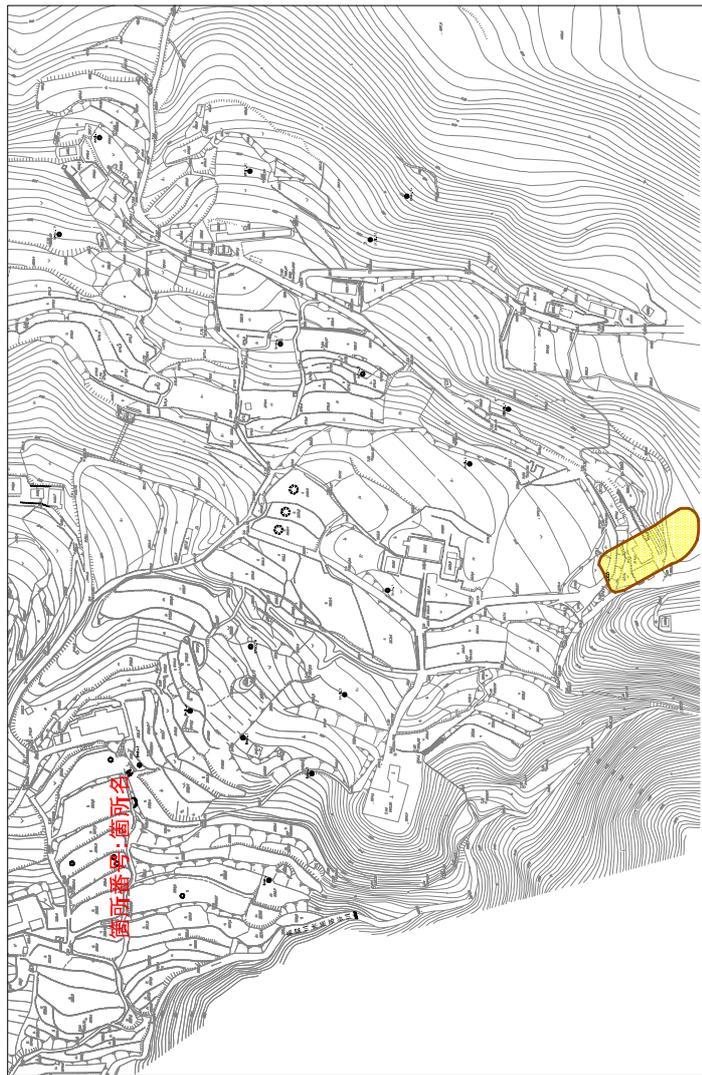
告示年月日	平成 年 月 日
告示番号	広島県告示第 号

様式一(地)	平面図
自然現象の種類	地滑り
箇所番号	
箇所名	〇〇地区
所在地	

凡 例	
土砂災害警戒区域	
土砂災害特別警戒区域	

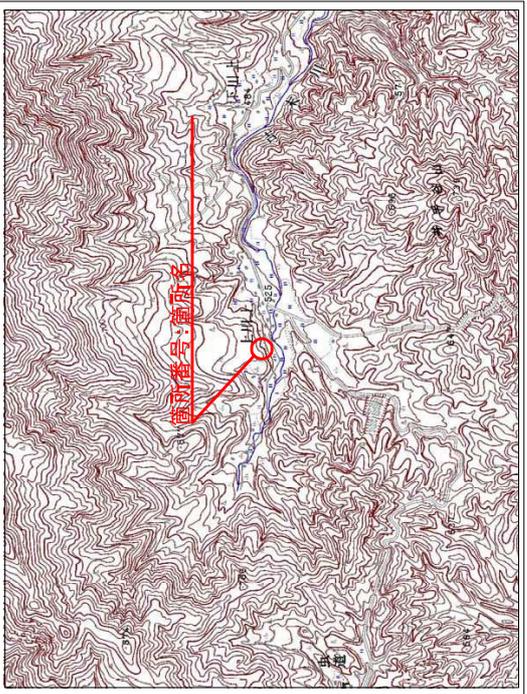
土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 区域図

縮尺:1/2,500



位置図

縮尺:1/25,000



・国土地理院の数字地図(5000:地図画像修正)を掲載。
 ・この地図は、本来の縮尺を以て、製作された5万分の1の地形図を
 複製したものである。(承認番号「平 広計研 第 号」)

調査対象箇所

地形条	地滑り地形を呈している
社会条	地滑りの徴候(き裂、陥没、隆起等)が見られる 人家等あり 人家等なし

様式-2 (地) 基礎調査調書 (1/3)

自然現象の種類	地滑り
箇所番号	
箇所名	〇〇地区
所在地	

急傾斜地崩壊危険区域

指定年月日	
告示番号	
指定面積	
既往調査との対応	
地すべり危険箇所	
地すべり防止区域	
砂防基盤図	
写真撮影年月日	
図化年月	
種別	
縦尺	
新規・修正の区分	

基礎調査履歴

回数	回数	調査年月	理由	由

告示履歴

告示年	告示月	告示番号	指定・解除	理由

区域の重複の有無

箇所番号	箇所名	自然現象の種類	土地の種類

法指定

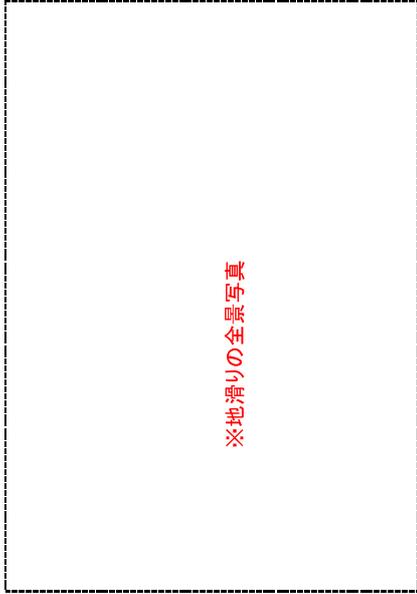
主に災害の防止に関する事項	
砂防法	<input type="checkbox"/> 砂防指定地
地すべり等防止法	<input type="checkbox"/> 地すべり防止区域
急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	<input type="checkbox"/> 急傾斜地崩壊危険区域
森林法	<input type="checkbox"/> 保安林
建築基準法	<input type="checkbox"/> 保安施設区域
宅地造成等規制法	<input type="checkbox"/> 災害危険区域
	<input type="checkbox"/> 宅地造成工事規制区域

主に土地の現状に関する事項	
統計法	<input type="checkbox"/> 人口集中地区

主に建築や開発の動向に関する事項	
都市計画法	<input type="checkbox"/> 市街化区域(都市計画区域) <input type="checkbox"/> 非線引都市区域(用途地域内)
	<input type="checkbox"/> 市街化調整区域(都市計画区域) <input type="checkbox"/> 非線引都市区域(用途地域外)
	<input type="checkbox"/> 準都市計画区域
離島振興法	<input type="checkbox"/> 離島振興対策実施地域
過疎地対策特別措置法	<input type="checkbox"/> 過疎地域
総合保養地域整備法	<input type="checkbox"/> 特定地域
	<input type="checkbox"/> 国立公園
自然公園法	<input type="checkbox"/> 国立公園
	<input type="checkbox"/> 都道府県立自然公園
都市緑地保全法	<input type="checkbox"/> 緑地保全地区
自然環境保全法	<input type="checkbox"/> 原生自然環境保全地域
	<input type="checkbox"/> 自然環境保全地域特別地区

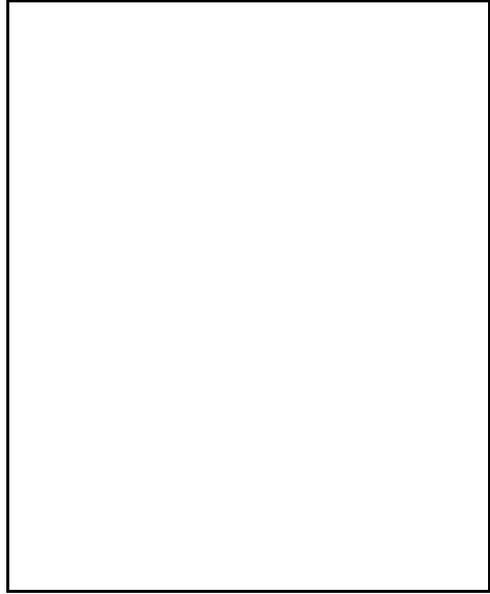
見取り図（写真撮影位置図）

全 景



様式-2（地）	基礎調査調査書（2/3）
自然現象の種類	地滑り
箇所番号	
箇所名	〇〇地区
所在地	

1 土地利用状況						
急傾斜地上部	1. 道路	2. 水路	3. 池沼	4. 空地	5. 農地	6. 山林
	③	山林	7. その他			
急傾斜地	1. 道路	2. 水路	3. 池沼	4. 空地	5. 農地	6. 山林
	②	山林	⑦. その他			
急傾斜地下端部	1. 道路	2. 水路	3. 池沼	4. 空地	5. 農地	6. 山林
	⑦	山林	⑦. その他			
2 世帯数及び人家戸数調査						
危険のおそれのある土地の区域 （著しい危険のおそれのある土地の区域を除く）						
	人家戸数					
	（共同住宅）	戸				
	人家戸数	戸				
	（共同住宅）	戸				
	（木造）	戸				
	（非木造）	戸				
3 公共施設等の状況調査						
公共施設						
	危険のおそれのある土地の区域 （著しい危険のおそれのある土地の区域を除く）					m
						m
						m
						m
						m
						m
						m
						m
公共的建物						
	危険のおそれのある土地の区域 （著しい危険のおそれのある土地の区域を除く）					
公共的建物						
	危険のおそれのある土地の区域 （著しい危険のおそれのある土地の区域を除く）					



様式-2 (地)	基礎調査調書 (3/3)
自然現象の種類	地滑り
箇所番号	
箇所名	〇〇地区
所在地	

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の地域防災計画への記載		
自主防災組織		
伸縮計設置		
その他地盤計測機器		
緯度		
経度		
最寄りに設置してある雨量計の位置		
最寄りに設置してある雨量計の管理者	国土交通省	
警戒基準雨量 (mm)		
避難基準雨量 (mm)		
雨量情報・災害発生の予報・被災情報等を伝達するシステムの整備		
避難路の設定		
避難場所の位置		
避難場所の建築構造		
防災マップの配布等住民への防災知識・情報の周知状況		
防災避難訓練等の実施状況		
1～5年増加率	6～10年増加率	11～15年増加率
人口の変化		
都市計画区域区域の変遷		
地価公示の変化		
建築確認申請		
農地転用		

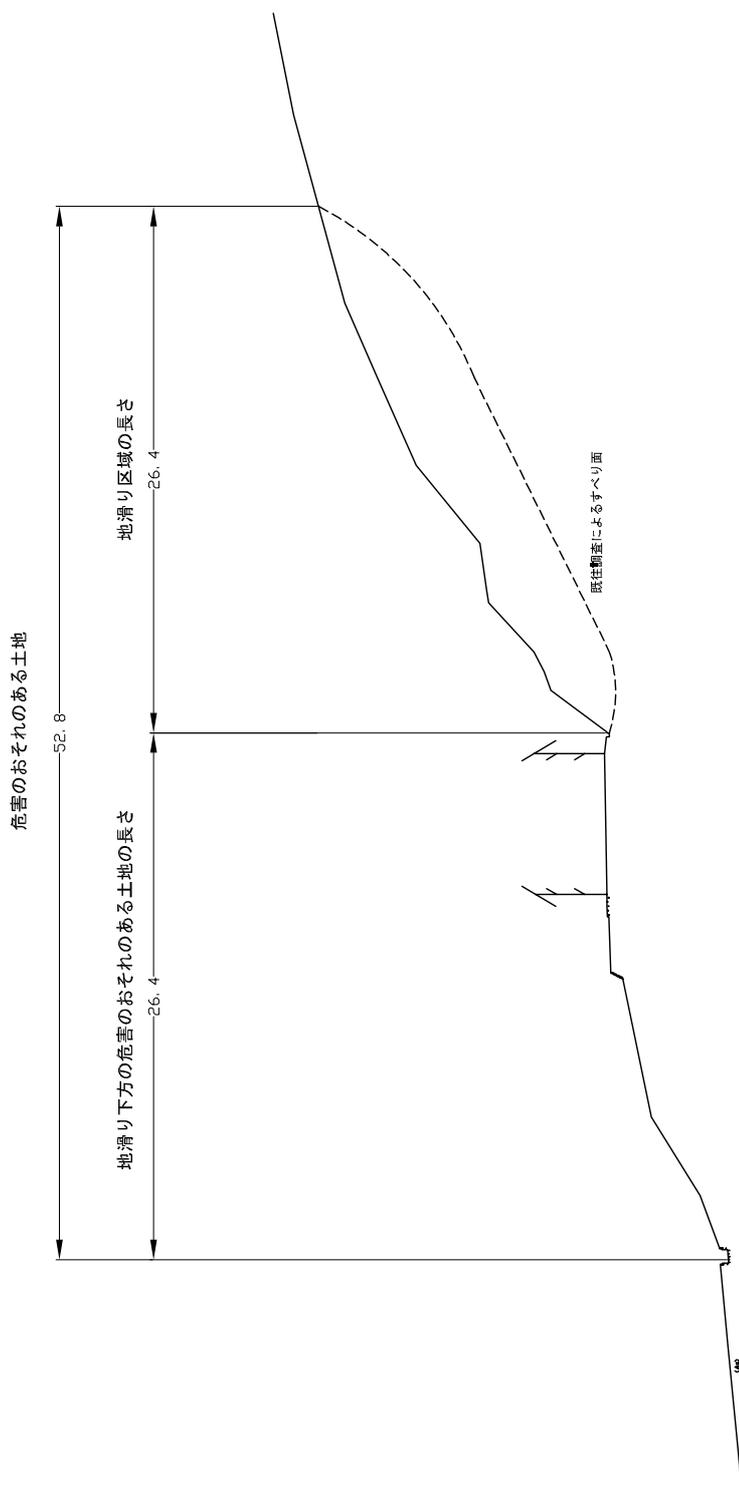
調査年度									
抑 制 工									
地滑りの誘因となる要因自身を低減あるいは除去することを目的として施工された施設									
位置	工 種	工 種 細 分	施 工 年 月	事 業 区 分	単 位	数 量	施 設 効 果	施設効果評価内容	
							有・無		
							有・無		
							有・無		
							有・無		
							有・無		
							有・無		
							有・無		
							有・無		
抑 止 工									
構造物によって地滑りの安定度を高めることを目的として施工された施設									
位置	工 種	工 種 細 分	施 工 年 月	事 業 区 分	単 位	数 量	施 設 効 果	施設効果評価内容	
							有・無		
							有・無		
							有・無		
							有・無		
							有・無		
							有・無		
							有・無		
							有・無		

事業区分：1地すべり対策事業、2治山事業、3その他の事業、4公団・組合などによる事業、5個人施設、6不明

縦断面図

様式-4(地) 縦断面図

自然現象の種類	地滑り
箇所番号	
箇所名	〇〇地区
所在地	



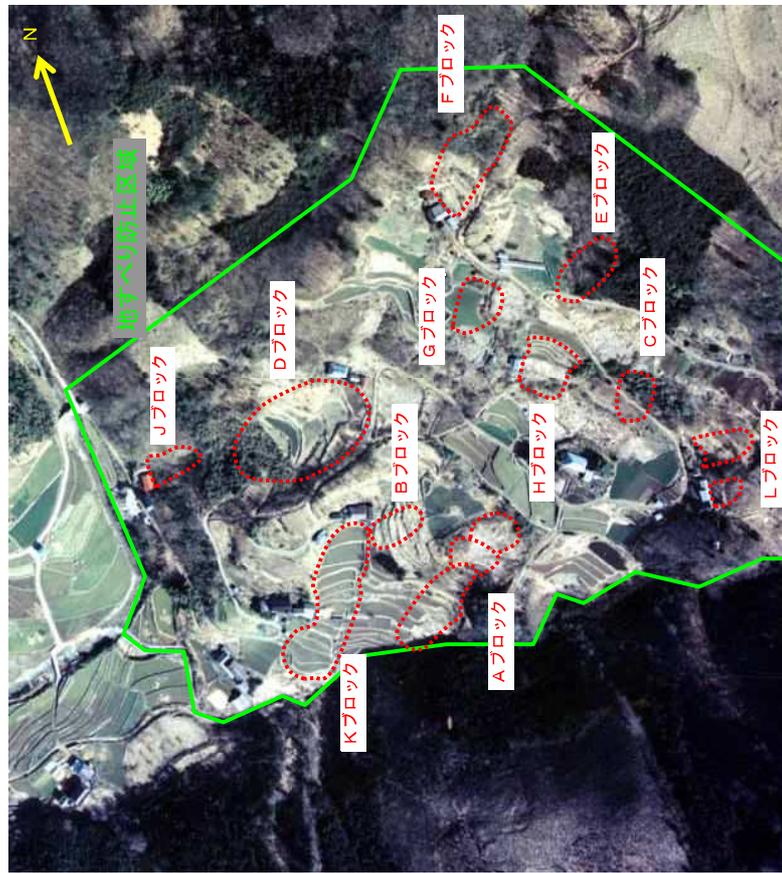
地形・地質調査結果

様式-5 (地)	著しい危害のおそれのある土地等の設定資料①
自然現象の種類	地滑り
箇所番号	
箇所名	〇〇地区
所在地	

地形調査		机上調査		現地調査		判定		特記事項	
調査段階	地滑り区域の位置	地滑り地形の明瞭性	地滑り区域抽出の根拠	地滑り区域の位置	項目	判定	特記事項	判定	特記事項
地滑り区域の位置	地滑り頭部	明瞭		全体の輪郭及び末端部に関する事項	滑落崖の明瞭性	明瞭		不明瞭	
		不明瞭			後背亀裂の有無	有	無		
	地滑り側部(右側部)	明瞭		輪郭の明瞭性	明瞭	不明瞭			
		不明瞭		輪郭の明瞭性	明瞭	不明瞭			
	地滑り側部(左側部)	明瞭		末端部の明瞭性	明瞭	不明瞭			
		不明瞭		隆起・押し出し地形の有無	有	無			
	明瞭		末端部より下方斜面の地形形状	平坦	斜面				
	不明瞭		地滑りの滑動状況に関する項目						
	地滑り側部(左側部)	明瞭		亀裂や段差の有無	有	無			
		不明瞭		崩壊の有無	有	無			
地滑り末端部	明瞭		地盤の隆起や陥没の有無	有	無				
	不明瞭		道路面や水路等の変状の有無	有	無				
	不明瞭		構造物基礎の変状の有無	有	無				
	不明瞭		樹木の傾動や根曲がりの有無	有	無				
不明瞭		電柱、墓石等の変状の有無	有	無					
地滑りプロックの明瞭性の判定	全体の輪郭	明瞭	不明瞭	湧水の有無	有	無			
	末端部	明瞭	不明瞭	湿地、湛水地の有無	有	無			
地滑りプロックより下方斜面の状況				河川、溪流の荒廃の有無	有	無			
地滑りの移動方向	移動方向		判定根拠	主な植生					
その他特記事項	その他特記事項			その他、地滑りに関連する調査項目					

地形調査		調査結果		根拠または資料名	
基礎地質				①地滑り地塊の土質試験	
地滑りの型				②地質調査結果(ボーリングコアやN値等)	
土石等の単位体積重量(γ)	18 kN/m ³			③地滑りの型の分類を参考に推定	
				地滑り地塊の土質	
				砂質土	
				30°	

地形判読図



様式一5 (地)	著しい危害のおそれのある土地等の設定資料②
自然現象の種類	地滑り
箇所番号	
箇所名	〇〇地区
所在地	

現地調査結果図

様式一5 (地)	著しい危害のおそれのある土地等の設定資料③
自然現象の種類	地滑り
箇所番号	
箇所名	〇〇地区
所在地	

平面図に現地踏査結果、写真位置を記載する。

地滑りブロック区分図

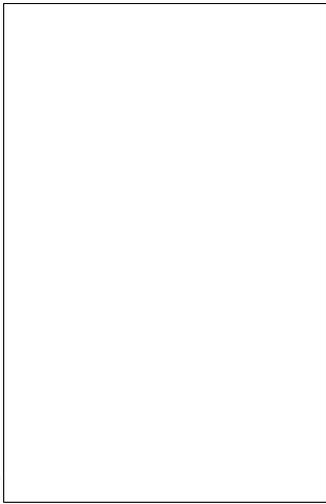
様式一5 (地)	著しい危害のおそれのある土地等の設定資料④(2)
自然現象の種類	地滑り
箇所番号	
箇所名	〇〇地区
所在地	



地滑りブロック全体の輪郭が不明な場合は	地滑りブロックの輪郭の一部分が不明な場合は	地滑りブロックの輪郭が不明な場合は
地滑りブロックの輪郭	不明な場合は	不明な場合は
	不明な場合は	不明な場合は

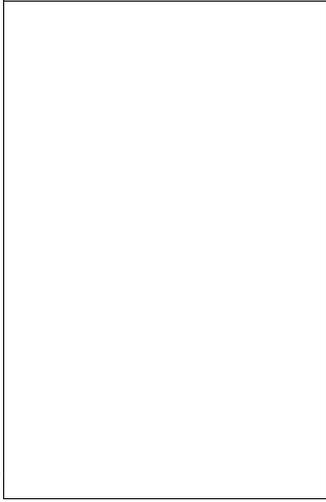
危害のおそれのある土地等の調査
(現地写真)

P1



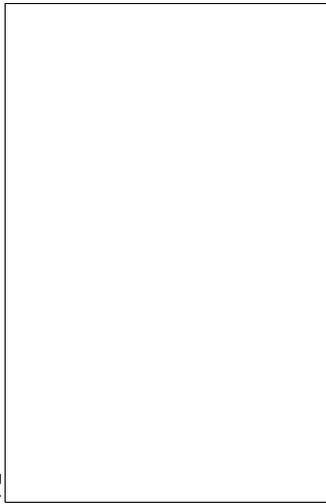
コメント

P4



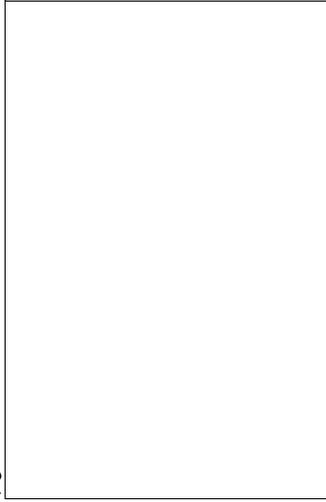
コメント

P2



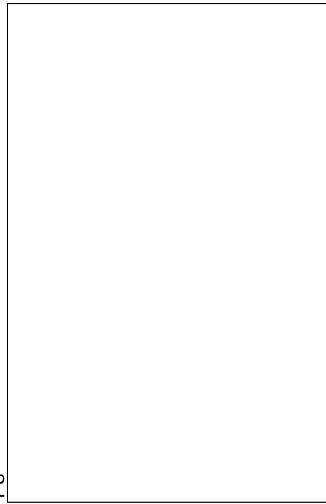
コメント

P5



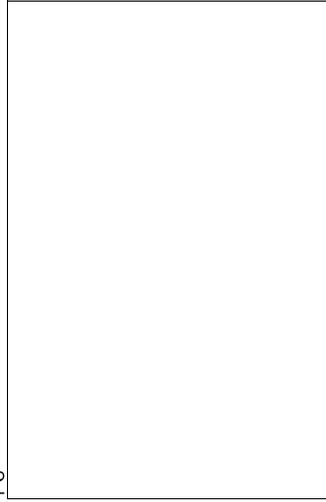
コメント

P3



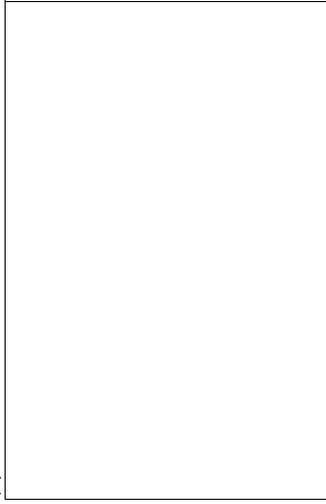
コメント

P6



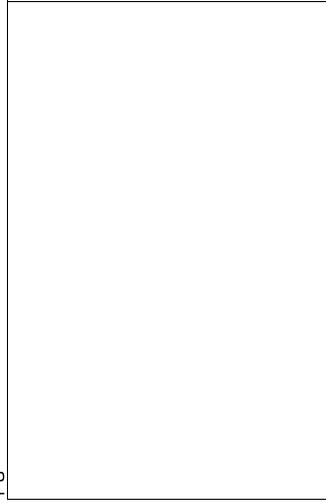
コメント

P7



コメント

P8



コメント

様式-5 (地)	著しい危害のおそれのある土地等の設定資料⑤
自然現象の種類	地滑り
箇所番号	
箇所名	〇〇地区
所在地	

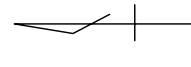
点の記

様式-7 (地)	点の記
自然現象の種類	地滑り
箇所番号	
箇所名	○○地区
所在地	

点の記

測点名	F -	観測年月	
所在地		標識の種類	
X座標		箇所番号	
Y座標		箇所名	
使用した座標系	<input type="checkbox"/> 日本測地系 <input checked="" type="checkbox"/> 世界測地系 <input type="checkbox"/> 任意座標系	標高	
備考	仮BM		
位置図			
写真			

点の記

測点名	F -	観測年月	
所在地		標識の種類	
X座標		箇所番号	
Y座標		箇所名	
使用した座標系	<input type="checkbox"/> 日本測地系 <input checked="" type="checkbox"/> 世界測地系 <input type="checkbox"/> 任意座標系	標高	
備考			
位置図			
写真			

位置図作成のチェックリスト

確認日:

確認者:

チェック	項目
<input type="checkbox"/>	印刷をして全体を確認した
背景図(地形図)について	
<input type="checkbox"/>	レイヤの順番は間違いない。(土石流Y→急傾斜Y→土石流R→急傾斜R)
<input type="checkbox"/>	背景図が最背面になっている。
<input type="checkbox"/>	○印, 文字のレイヤが最前面になっている。
<input type="checkbox"/>	背景図が明瞭に表示されている。
位置図の体裁について	
<input type="checkbox"/>	位置図のラベルは見本通りとなっているか。小学校区, 事象を記載している。 例) 土砂災害警戒区域・特別警戒区域位置図(●●小学校区)【土石流・急傾斜】(1/2)
<input type="checkbox"/>	広域図を記載している。
<input type="checkbox"/>	広域図内に当該地区の範囲が四角の赤枠で記載されているか。
<input type="checkbox"/>	縮尺は記載していない。
<input type="checkbox"/>	距離標を記載している。
<input type="checkbox"/>	作成年月(公表月)を記載している。
凡例について	
<input type="checkbox"/>	公表時(各戸配布)の図面であり, 公表時の凡例の見本通りとなっている。
<input type="checkbox"/>	指定時(各戸配布)の図面であり, 指定時の凡例の見本通りとなっている。
区域について	
<input type="checkbox"/>	凡例通りの色となっている。
<input type="checkbox"/>	土石流・急傾斜地・地すべりの区別ができる。
<input type="checkbox"/>	Y区域, R区域が明瞭に表示されている。
<input type="checkbox"/>	重複した区域が消えていないか。
<input type="checkbox"/>	土石流で基準地点のみに出ているR区域が判別できる。
<input type="checkbox"/>	R区域の力の区分は表示しない。
<input type="checkbox"/>	流域界は表示しない。
<input type="checkbox"/>	急傾斜地の下端線(法尻線)は表示しない。
<input type="checkbox"/>	指定済・公表済の区別が出来ている。
<input type="checkbox"/>	土石流(公表済見直し), 土石流(指定済見直し)の区別が出来ている。
<input type="checkbox"/>	隣接小学校区の指定・公表状況は最新のものを反映している。
<input type="checkbox"/>	公表済区域はすべて網羅しているか。
小学校区について	
<input type="checkbox"/>	小学校区の区分線及び小学校区名は水色となっている。
<input type="checkbox"/>	小学校区名に間違いはない。○○ <u>小学校区</u> となっている。
<input type="checkbox"/>	隣接する小学校区名も明記している。

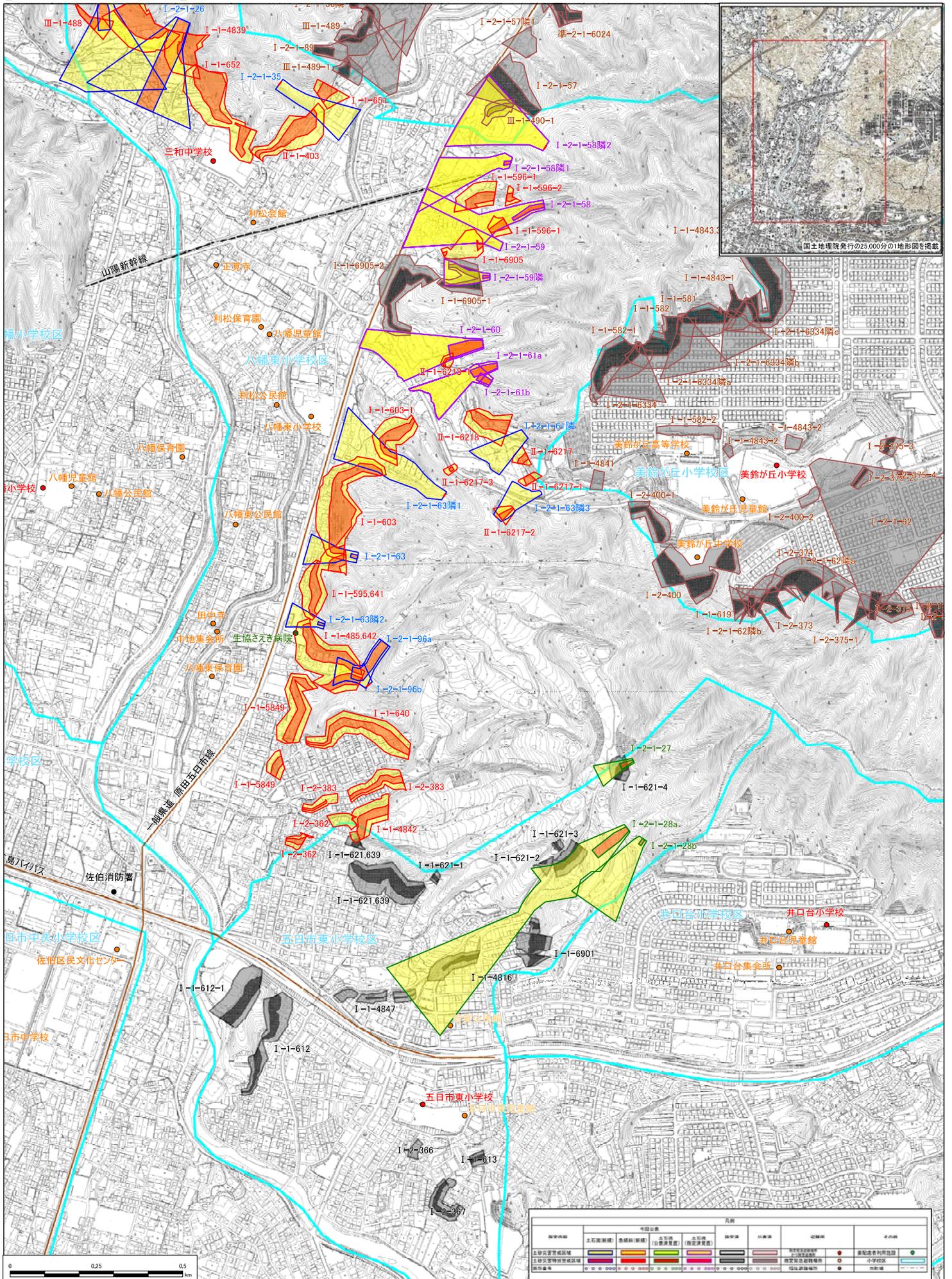
位置図作成のチェックリスト

ランドマークについて	
<input type="checkbox"/>	道路を茶色で記載している。道路名を記載している。
<input type="checkbox"/>	一般国道、主要地方道を記載している。
<input type="checkbox"/>	一般国道、主要地方道が一路線以下の場合は、一般県道を記載している。
<input type="checkbox"/>	JRの路線は黒の点線で記載している。路線名を記載している。駅名を記載している。
<input type="checkbox"/>	その他のランドマークは黒丸、黒文字で記載する。(JRの駅、学校、官公庁など)
<input type="checkbox"/>	記載したランドマークで住民が地図の位置を把握できる。出来ない場合は、適宜ランドマークを追加している。
要配慮者利用施設について	
<input type="checkbox"/>	各市町における地域防災計画の要配慮者利用施設と一致している。
<input type="checkbox"/>	要配慮者利用施設を指定した色(見本は緑色)で記載している。
<input type="checkbox"/>	○の外枠は黒色で中を指定した色(見本は緑色)で塗りつぶしている。
<input type="checkbox"/>	施設名を凡例と同色で記載している。
<input type="checkbox"/>	要配慮者利用施設は、土砂災害警戒区域内の施設のみを記載している。
<input type="checkbox"/>	要配慮者利用施設の名称、位置に間違いはない。
避難場所について	
<input type="checkbox"/>	名称は最新の地域防災計画と一致している。(避難所、避難場所、緊急避難場所)
<input type="checkbox"/>	凡例の色はHMの色と整合をとっている。※
<input type="checkbox"/>	○の外枠は黒色で中を指定した色で塗りつぶしている。
<input type="checkbox"/>	避難場所の名称を凡例と同色で記載している。
<input type="checkbox"/>	避難場所は土砂災害のものに限っている。(あるいは、ほかの災害と区別している)
<input type="checkbox"/>	避難場所の名称、位置に間違いはない。
<input type="checkbox"/>	最終図面を市町で確認した。
箇所名について	
<input type="checkbox"/>	土石流(新規)は凡例通り青で箇所名を記載している。
<input type="checkbox"/>	急傾斜地(新規)は凡例通り赤で箇所名を記載している。
<input type="checkbox"/>	既指定、既公表箇所は凡例通りの色で箇所名を記載している。
<input type="checkbox"/>	公表時においては、結果一覧表の箇所を漏れなく記載している。
<input type="checkbox"/>	指定時においては、既公表の箇所を含めて漏れなく記載している。
注釈について	
<input type="checkbox"/>	要配慮者利用施設は、土砂災害警戒区域内の施設のみ記載しています。という注釈を記載している。
<input type="checkbox"/>	都市計画図が背景図の場合、複製承認の番号を記載している。
<input type="checkbox"/>	国土地理院発行の25,000分の1地形図を掲載している。を記載している。
<input type="checkbox"/>	小学校区の範囲はおおよその範囲です。という注釈を記載している。
<input type="checkbox"/>	避難場所に関する注釈は、市町で確認した上で記載している。

※市が既にHMを作成し、避難場所・要配慮者利用施設の色を決めている場合は、それに準拠すること

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 位置図 〔八幡東小学校区〕 〔急傾斜地・土石流〕

平成28年11月作成



この地図は、広島市長の承認を得て、同市発行の2千5百分の1地形図を使用したものである。
(承認番号 広島計第118号 平成26年2月19日)

要配慮施設は、土砂災害警戒区域内の施設のみ記載しています。
避難所は、土砂災害に対応した施設のみ記載しています。
避難所は、平成28年11月現在、広島市で公表されているものです。
今後、避難体制の整備により変更になる可能性があります。
小学校区はおおよその範囲です。